

# 「義務教育に関する意識調査」結果の速報について

## 1. 調査目的

全国の小・中学生、保護者、小・中学校教員、小・中学校評議員、都道府県及び市区町村の教育長と首長を対象に、義務教育に関する評価と期待や、子どもの家庭での生活状況等に関して質問紙調査を行い、現在、中央教育審議会で行われている義務教育改革に係る審議の検討資料とする。

## 2. 調査概要

約36,000名を対象として7種類の調査を実施。

民間の機関に委嘱して実施。

研究協力者： 苅谷 剛彦 東京大学大学院教育学研究科教授  
小松 郁夫 国立教育政策研究所教育政策・評価研究部部长

	小学生調査	中学生調査	保護者調査	学校評議員調査	教員調査	教育長調査	首長調査
対象	全国の小学4～6年生	全国の中学1～3年生	全国の小1～中3生をもつ保護者	全国の小中学校の学校評議員	全国の小中学校の校長、教頭、教員	都道府県、市区町村の教育長	都道府県、市区町村の首長
実施期間	平成17年3月	平成17年3月	平成17年3月	平成17年3月～4月	平成17年3月～4月	平成17年3月～4月	平成17年3月～4月
調査方法	学校ごとの依頼・回収	学校ごとの依頼・回収	学校ごとの依頼・回収	学校ごとに依頼、個別に回収	学校ごとに依頼、個別に回収	個別に依頼、回収	個別に依頼、回収
調査校数	15	10	25 (小15,中10)	941 (小470,中471)	1,219 (小603,中616)		
配布数			9,836	4,705	9,752	2,743 (悉皆)	2,747 (悉皆)
回収数	3,350	2,924	6,742	808	2,503	1,038	785
回収率			68.5%	17.2%	25.7%	37.8%	28.6%
調査内容	学校での勉強の様子、「総合的な学習の時間」について、先生や学校に望むこと、学校の満足度、家庭生活の様子、など	小学生調査とほぼ同様	学校とのかかわり、学校教育に期待すること、学校の満足度、「総合的な学習の時間」について、教育改革への賛否、など	学校教育に期待すること、「総合的な学習の時間」について、教育改革への賛否、など	日ごろの教育実践、「総合的な学習の時間」の取り組み・成果、教育改革への賛否、など	学校教育に期待すること、「総合的な学習の時間」について、教育改革への賛否、など	学校教育に期待すること、教育改革への賛否、など

今後、更に詳細分析を行い、本年10月を目途に最終報告書を作成する予定。

なお、今回発表する数値は速報値であり、今後、修正の可能性があります。

# 「義務教育に関する意識調査」結果の速報（概要）

## 学校教育に何を求めているか

p 1

- 1 学校教育で身に付ける必要性が「とても高い」能力や態度
- 2 家庭教育など学校教育以外で身に付ける必要性が「とても高い」能力や態度

## 実際の学校教育についてどのように感じているか

p 2

- 1 学校への満足度
- 2 授業中の様子・授業に対する意識
- 3 勉強する理由
- 4 「総合的な学習の時間」について
- 5 教員の勤務状況

## 学校外での生活はどうなっているか

p 1 7

- 1 小・中学生の学校外での生活
- 2 保護者が家庭教育で心がけていること

## 教育改革の方策についてどのように考えているか

p 2 2

- 1 授業や学習指導要領に関する改革についての考え方
- 2 教育制度に関する改革についての考え方
- 3 学校評価や教員等に関する改革についての考え方
- 4 教職員の人事権に関する改革についての考え方

(参考)

## 学校教育に何を求めているか

< 詳細データ >

p 3 6

\* 調査結果を見るに際しては、以下の点にご留意ください。

### 1 調査手法の特徴

小・中学生調査： 無作為抽出に基づき調査対象校を決定、 学校に調査票を送付、原則として当該校の対象学年（小4～小6、中1～中3）全員が回答、 学校単位で返送。

保護者調査： 無作為抽出に基づき調査対象校を決定、 学校に調査票を送付、原則として当該校の保護者全員に配布、 学校単位で返送。

学校評議員調査： 無作為抽出に基づき調査対象校を決定（該当しない学校は除外） 各校長宛に調査票を5通送付、校長から学校評議員に依頼、 各学校評議員から個別に返送。

教員調査： 無作為抽出に基づき調査対象校を決定、 各校長宛に調査票を8通送付、校長・教頭分以外の6通については担当学年が分かれるよう配慮の上、校長から教員に適宜依頼、 各教員から個別に返送。

教育長調査・首長調査：平成17年2月現在のリストに基づき悉皆調査。

### 2 サンプルの特徴

上記の調査手法によったため、小・中学生と保護者については、調査対象校の選び方は無作為抽出であるが、その児童生徒や保護者についてはそうならず、それぞれの母集団に対する代表性においてバイアスがかかり易い面があること。また、学校評議員と教員については、厳密な意味でのランダムサンプリングとはなっていないこと。特に教員については、管理職の回答比率が実際の存在の比率よりも高くなっていること。

調査実施時期が卒業時期の3月中下旬であったため、中学生3年生及び中学3年生の保護者の回答比率が低くなっていること。

# 学校教育に何を求めているか

## 1 学校教育で身に付ける必要性が「とても高い」能力や態度(上位3位)

### 【大人】

		1位	2位	3位
保護者	小学生	教科の基礎的な学力 77.2% (3.74)	人間関係を築く力 69.6% (3.65)	善悪を判断する力 61.2% (3.54)
	中学生	教科の基礎的な学力 78.0% (3.73)	人間関係を築く力 65.2% (3.60)	自ら学ぼうとする意欲 58.5% (3.48)
教員	小学校担任	教科の基礎的な学力 84.1% (3.87)	人間関係を築く力 70.2% (3.70)	自ら学ぼうとする意欲 67.2% (3.66)
	中学校担任	教科の基礎的な学力 88.0% (3.88)	人間関係を築く力 70.5% (3.65)	自ら学ぼうとする意欲 67.4% (3.64)
学校評議員		教科の基礎的な学力 71.7% (3.69)	自ら学ぼうとする意欲 56.1% (3.49)	善悪を判断する力 51.0% (3.40)
教育長		教科の基礎的な学力 87.5% (3.86)	自ら学ぼうとする意欲 73.4% (3.69)	善悪を判断する力 68.1% (3.62)
首長		教科の基礎的な学力 87.8% (3.87)	自ら学ぼうとする意欲 71.0% (3.66)	善悪を判断する力 60.0% (3.53)

( )内は、「とても高い」を4点、「やや高い」を3点、「やや低い」を2点、「とても低い」を1点とした際の平均値

### 【小・中学生】

		1位	2位	3位
小学生		よいことと悪いことを 区別する力 74.1% (3.67)	まわりの人と 仲よくつきあう力 72.1% (3.65)	たくましく生きるための 健康や体力 66.3% (3.58)
中学生		よいことと悪いことを 区別する力 64.7% (3.57)	まわりの人と 仲よくつきあう力 64.5% (3.57)	自分の考えを言葉で 伝える力 55.9% (3.48)

( )内は、「とても必要」を4点、「まあ必要」を3点、「あまり必要でない」を2点、「全く必要でない」を1点とした際の平均値

## 2 家庭教育など学校教育以外で身に付ける必要性が「とても高い」能力や態度(上位3位)

### 【大人】

		1位	2位	3位
保護者	小学生	善悪を判断する力 68.5% (3.62)	基本的な生活習慣 68.0% (3.60)	社会生活に必要な常識 63.8% (3.57)
	中学生	基本的な生活習慣 69.9% (3.62)	善悪を判断する力 68.1% (3.61)	社会生活に必要な常識 65.7% (3.58)
学校評議員		善悪を判断する力 61.8% (3.54)	基本的な生活習慣 61.4% (3.51)	社会生活に必要な常識 57.7% (3.47)
首長		善悪を判断する力 72.0% (3.65)	基本的な生活習慣 69.2% (3.62)	社会で役立つと する心や公共心 63.4% (3.57)

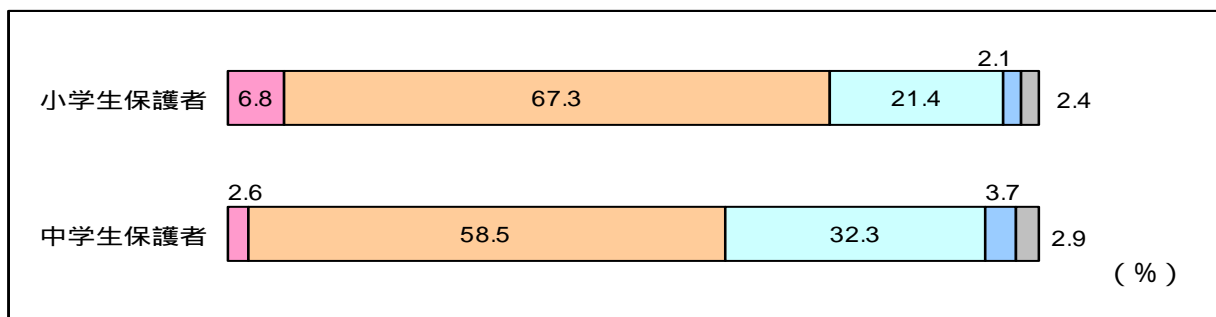
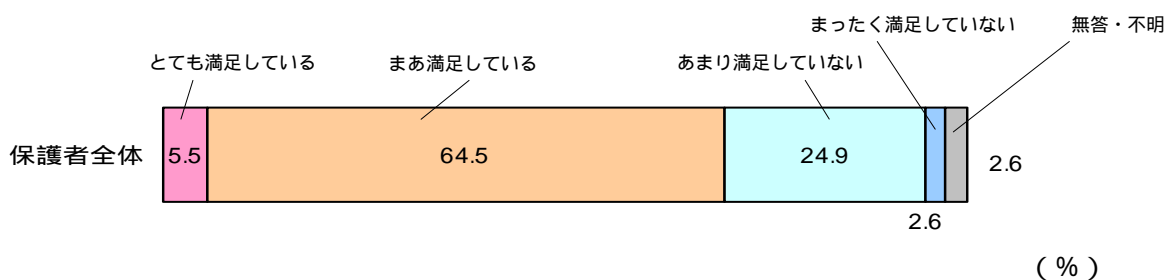
( )内は、「とても高い」を4点、「やや高い」を3点、「やや低い」を2点、「とても低い」を1点とした際の平均値

# 実際の学校教育についてどのように感じているか

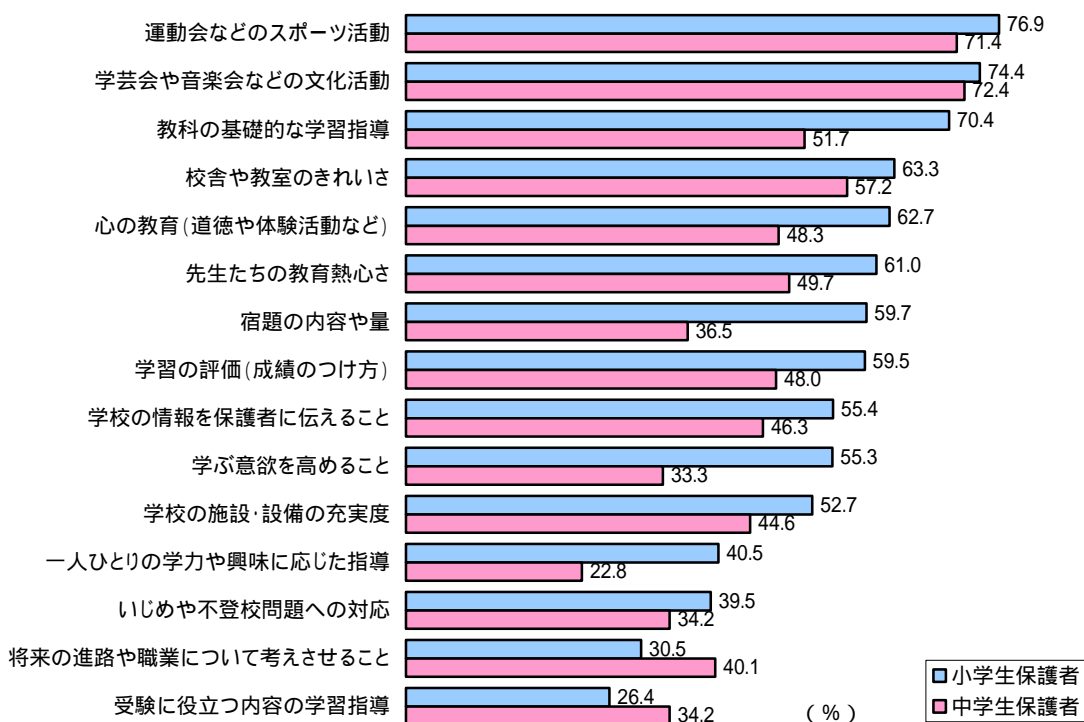
## 1 学校への満足度

### 【保護者】

#### 学校の総合的な満足度

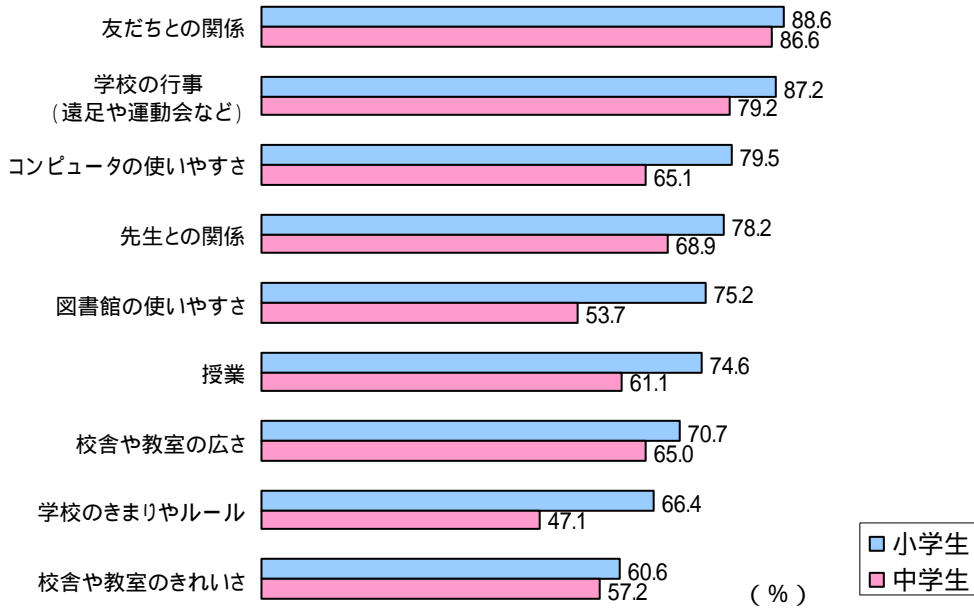


#### 個々の指導や取組みに対する満足度（「とても満足している」「まあ満足している」の合計）



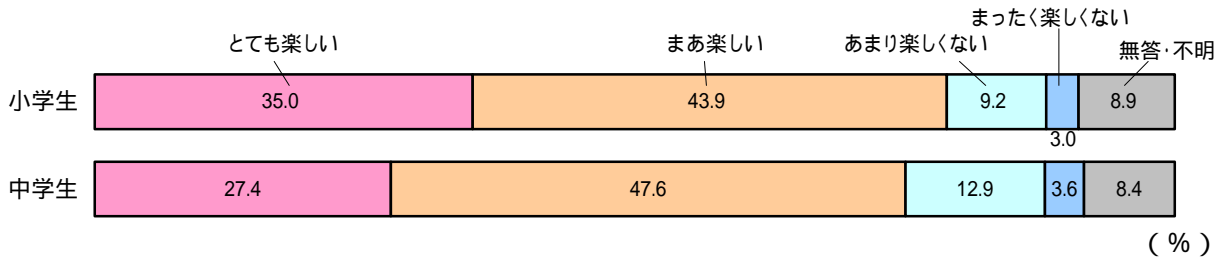
【小学生・中学生】

学校生活への満足度（「とても満足している」「まあ満足している」の合計）

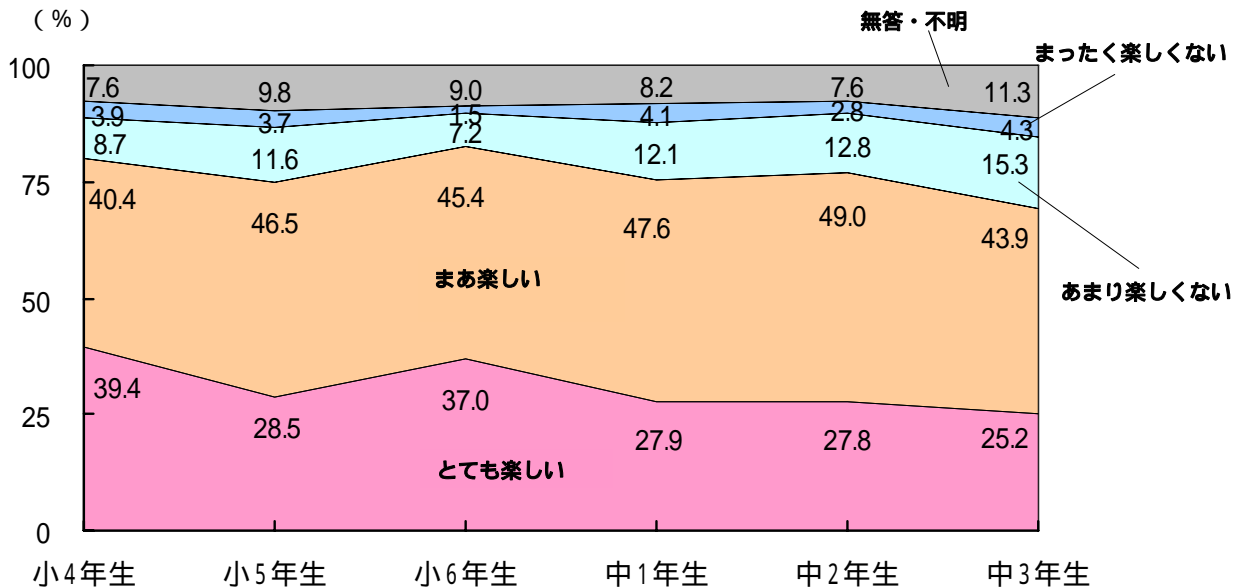


学校の楽しさ

(学校段階別)

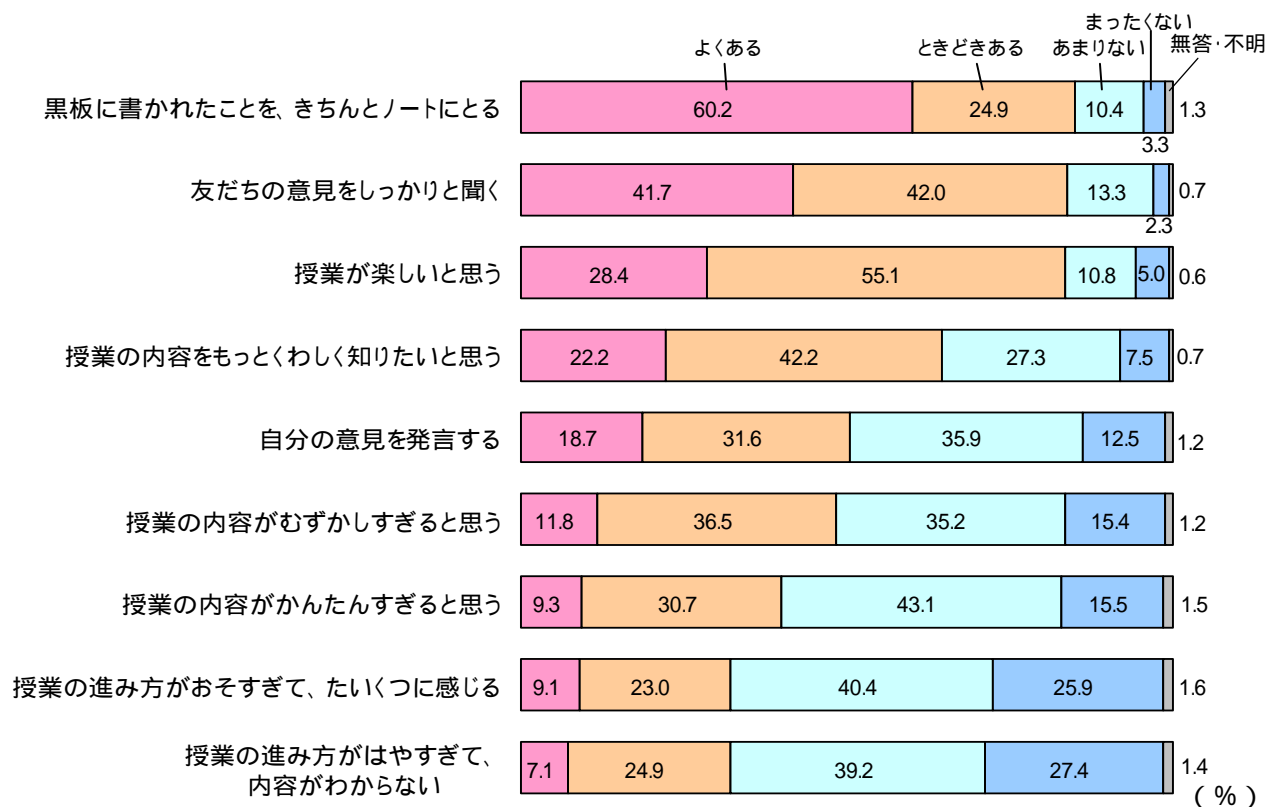


(学年別)

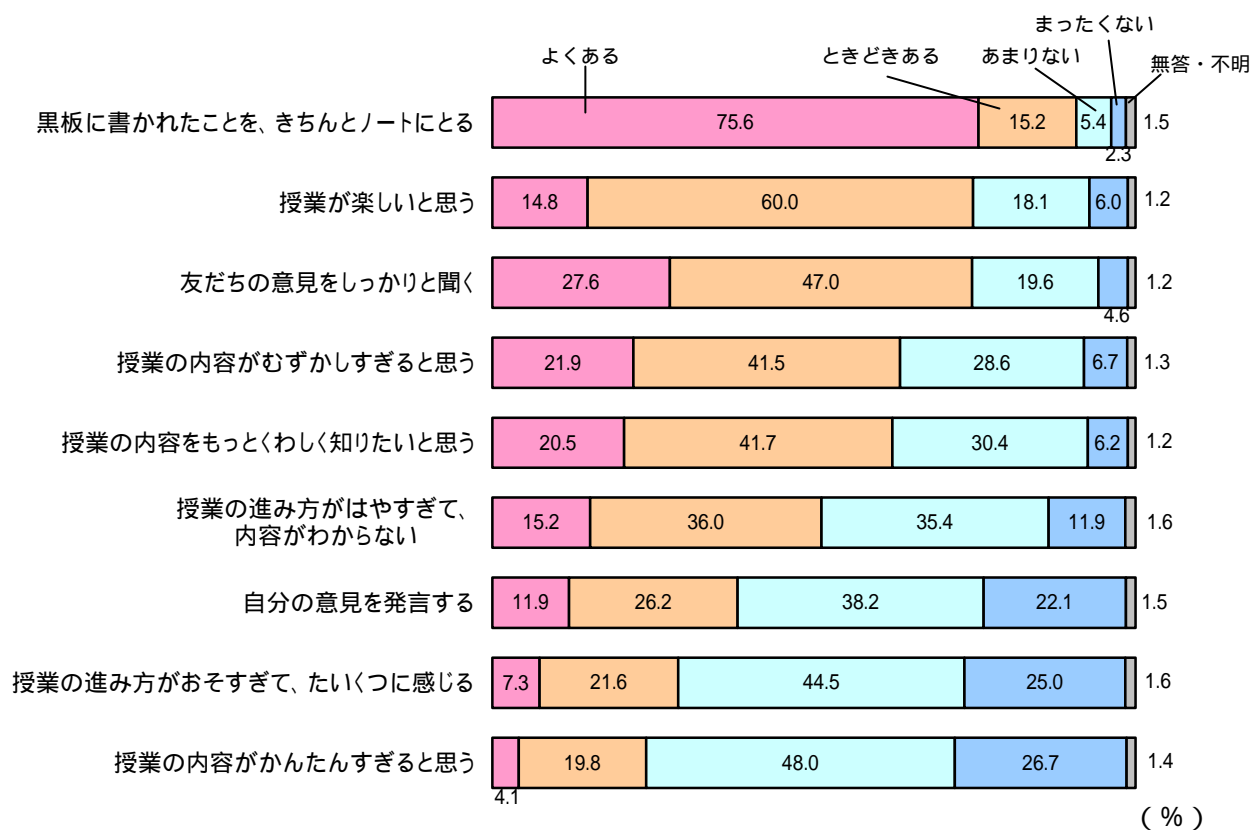


## 2 授業中の様子・授業に対する意識

### 授業中の態度、授業について思うこと（小学生）

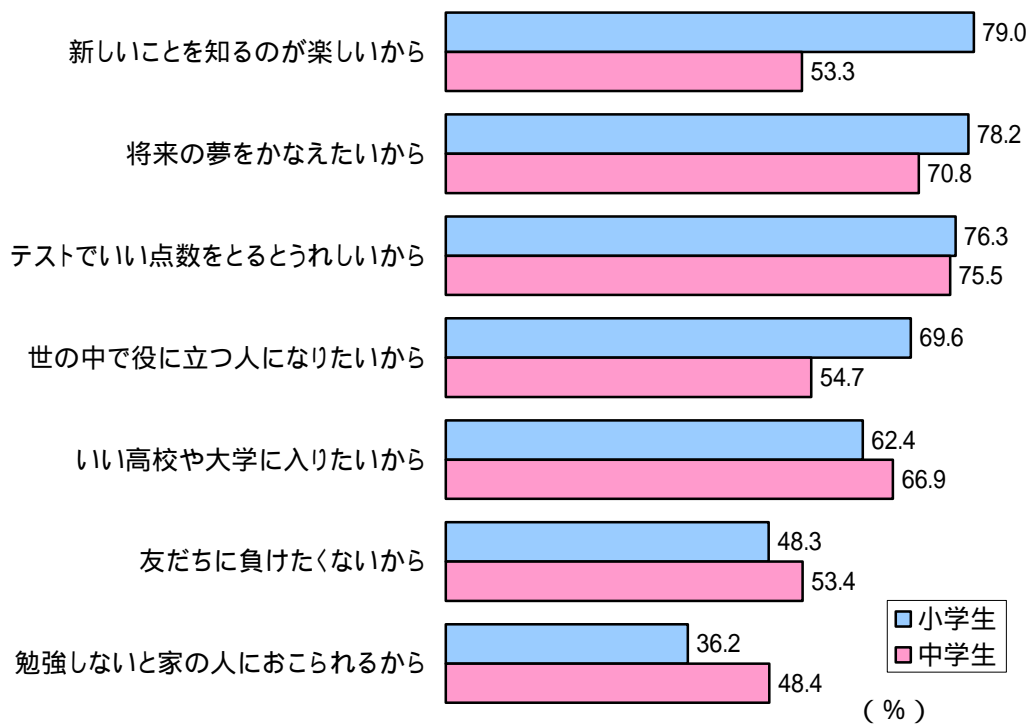


### 授業中の態度、授業について思うこと（中学生）



### 3 勉強する理由

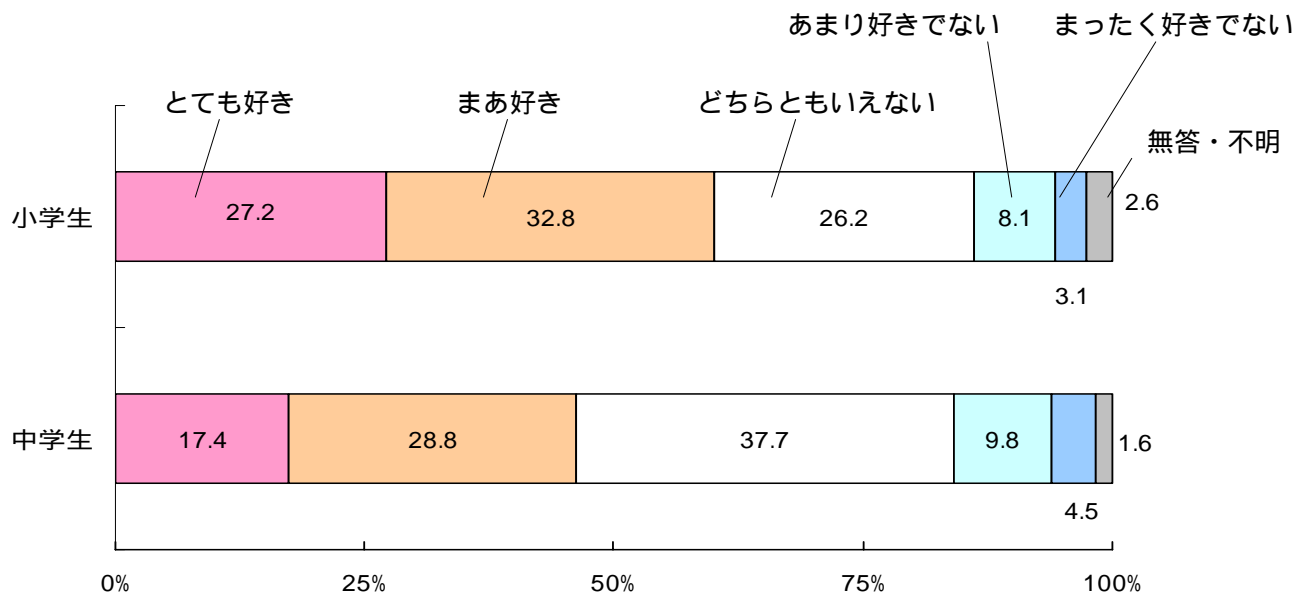
小・中学生の勉強する理由（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計）



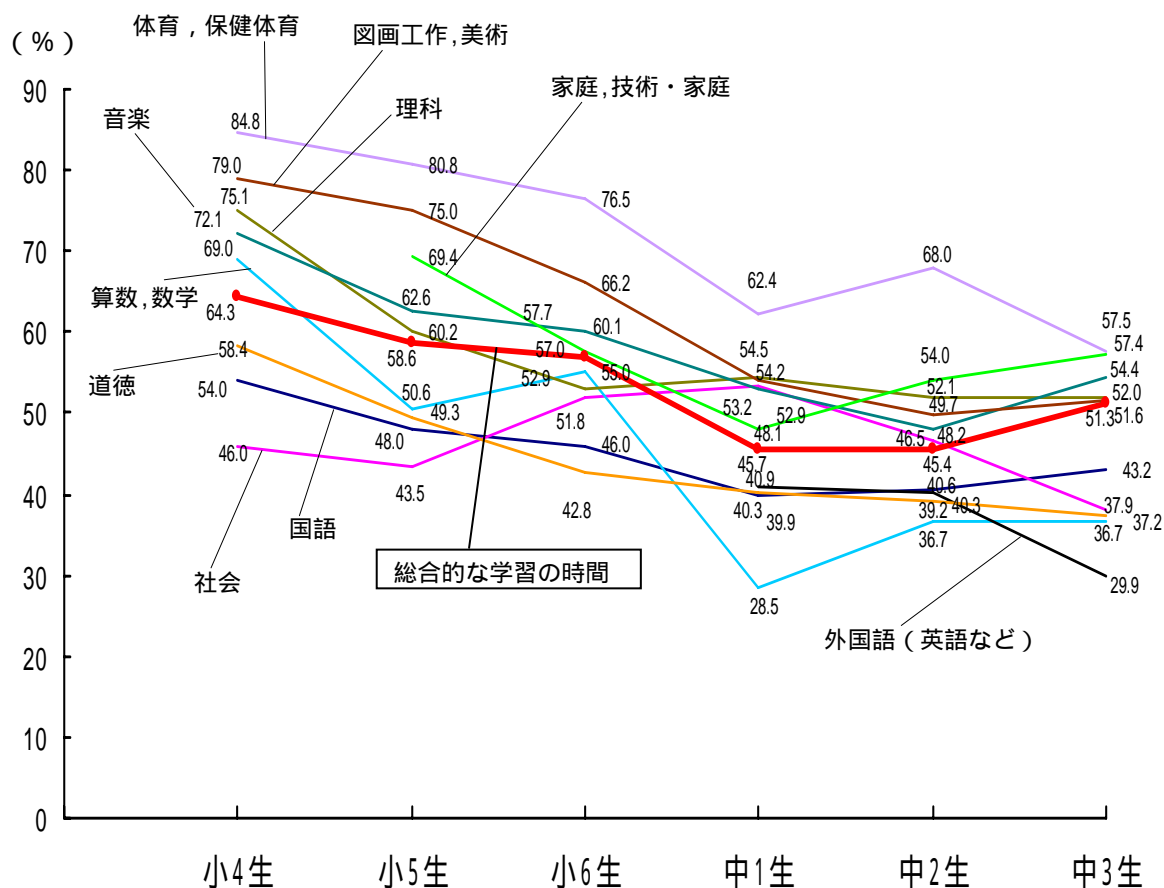
## 4 「総合的な学習の時間」について

### 【小学生・中学生】

「総合的な学習の時間」の好き嫌い

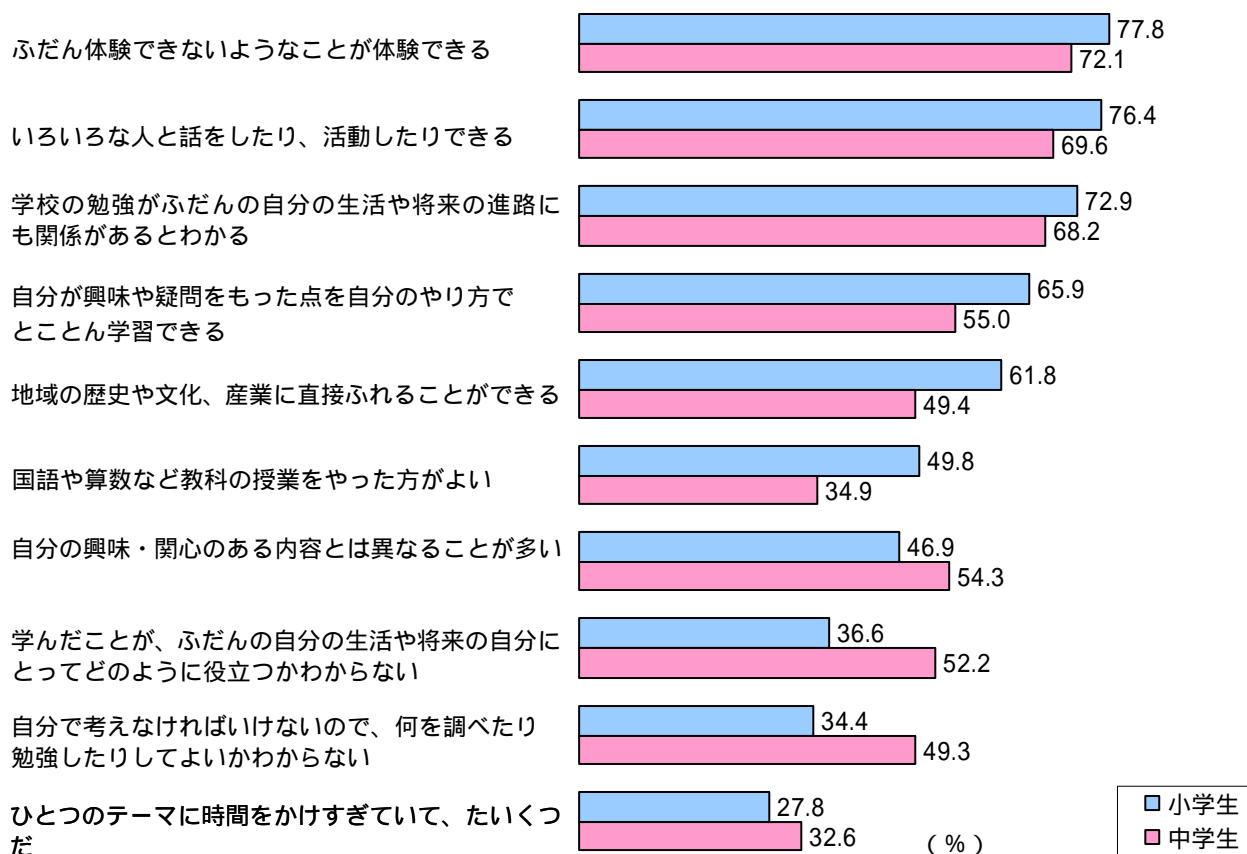


(参考) 教科等の好き嫌い(「とても好き」「まあ好き」の合計)

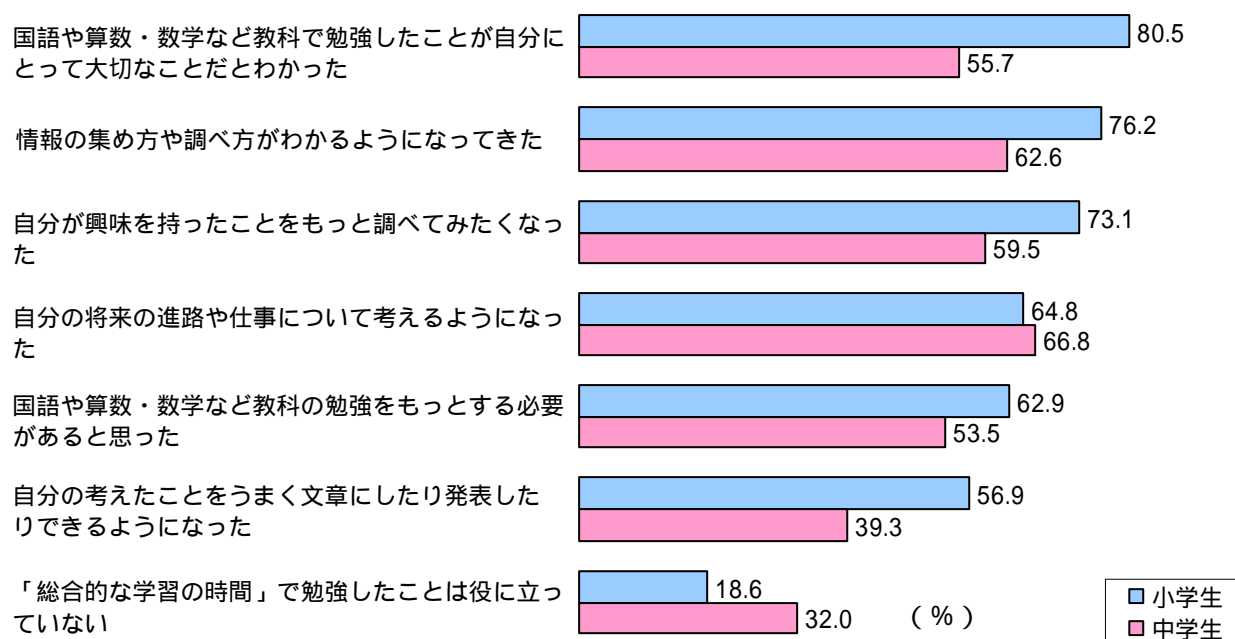




「総合的な学習の時間」についての考え  
 (「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計)



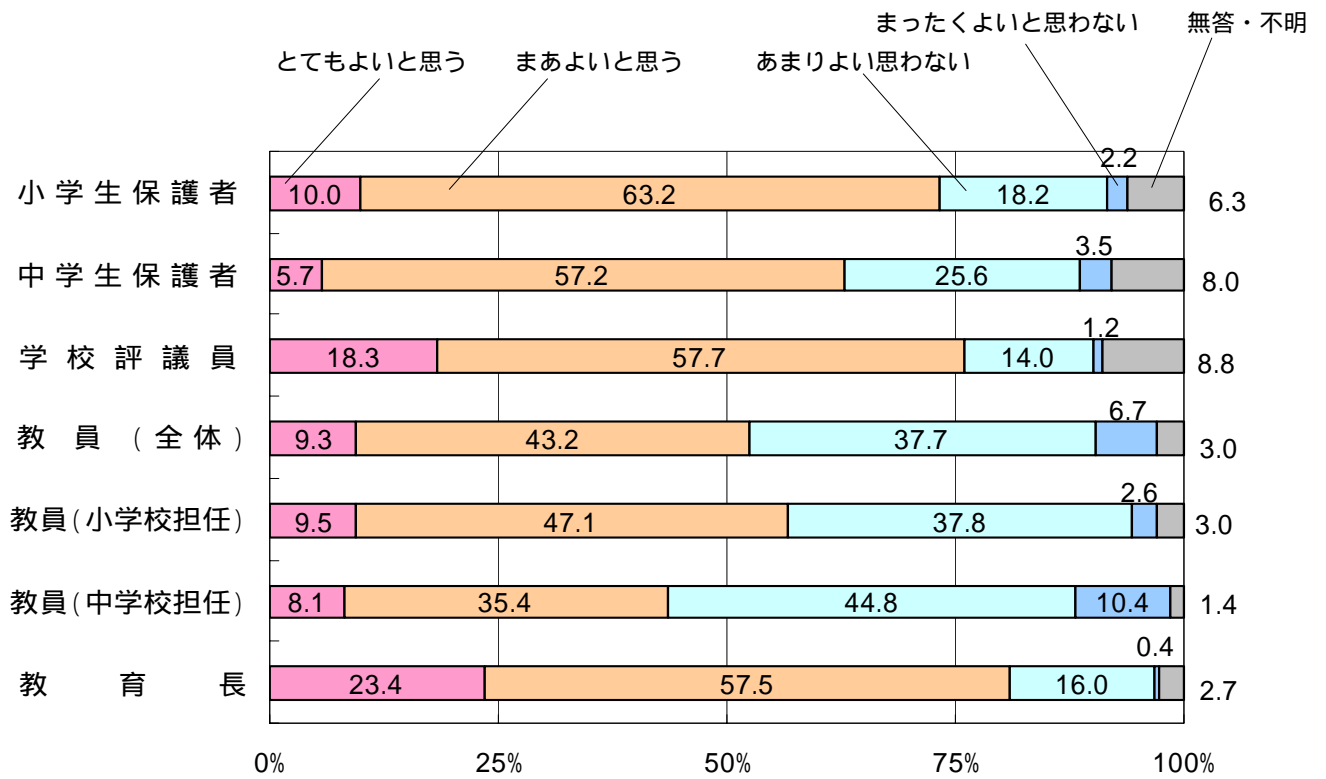
「総合的な学習の時間」の役立ち感  
 (「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計)



## 【 大人 】

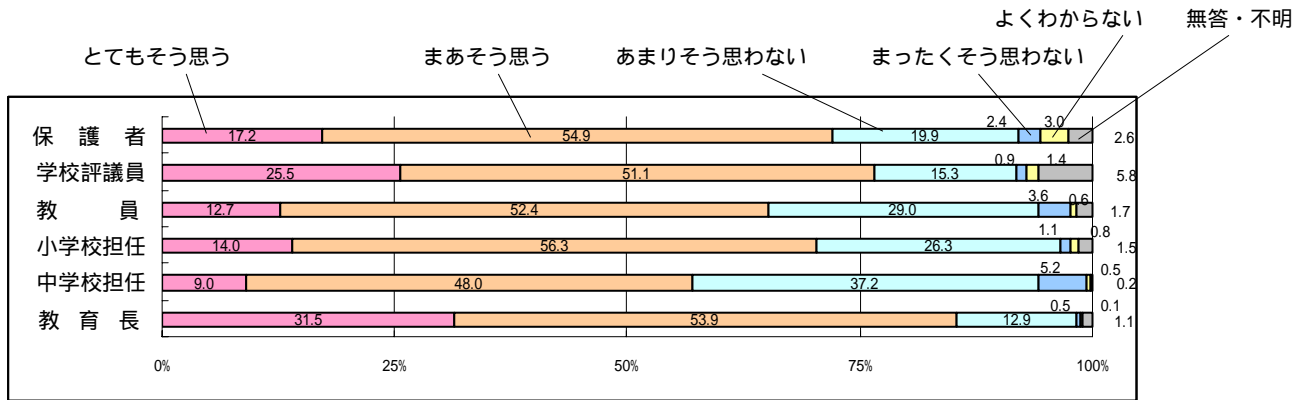
以下 ~ における「保護者」は、小1生～小2生の保護者を除く

「総合的な学習の時間」についての評価

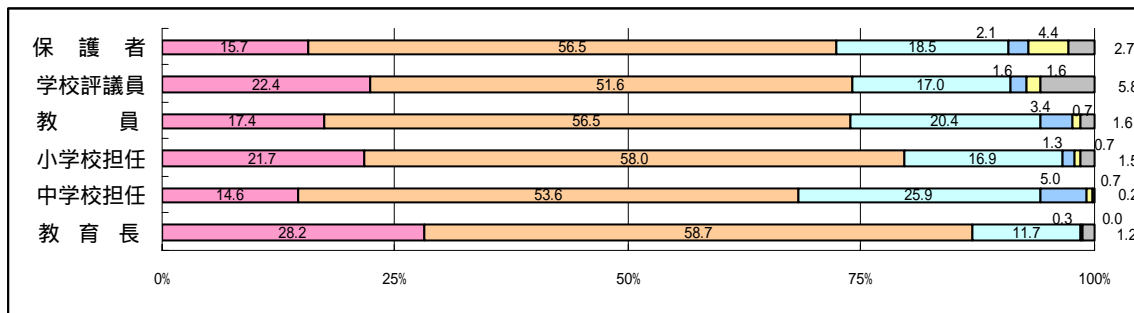


「総合的な学習の時間」の取組に対する考え

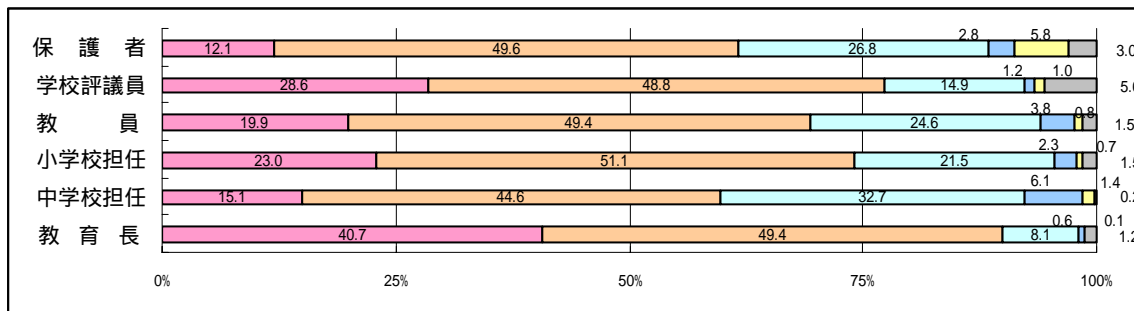
自分で調べたり、考えたりするなど、積極的に学習する意欲や表現する力が身に付く



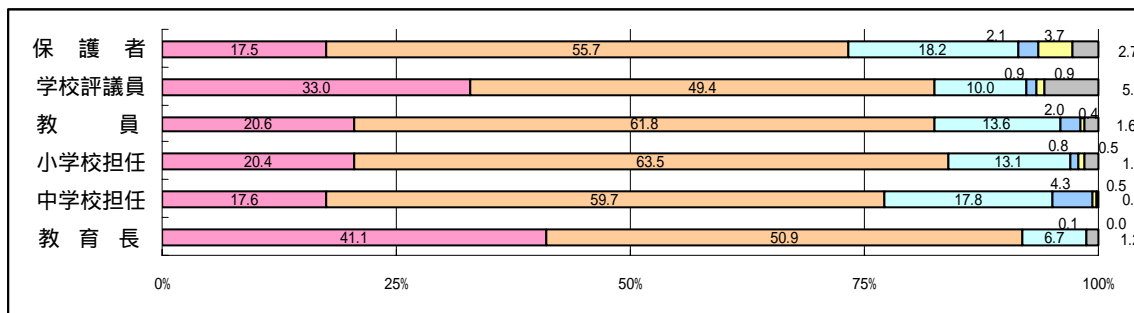
教科の枠を越えた横断的・総合的な課題（国際理解、情報、環境、福祉・健康、社会のしくみや職業など）について学習できる



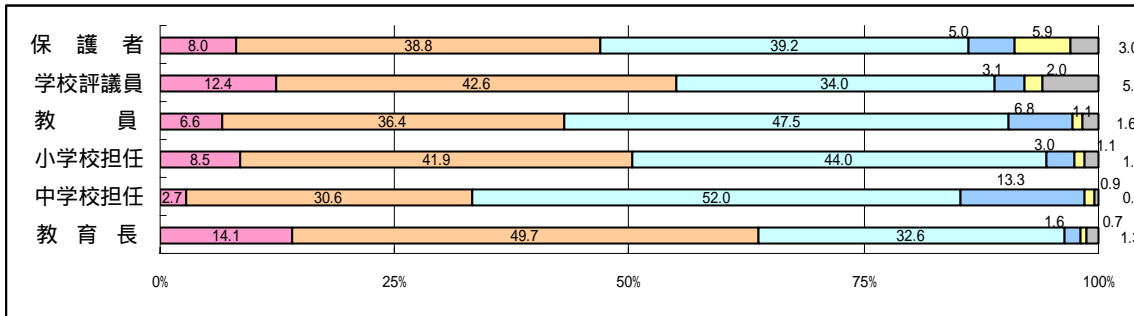
地域の特性や学校の創意工夫を生かした特色ある教育が展開できる



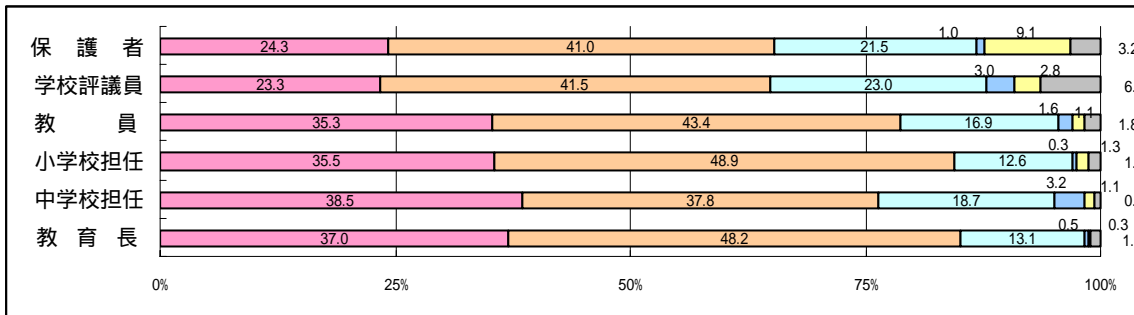
自然体験や社会体験などさまざまな体験活動を行うことができる



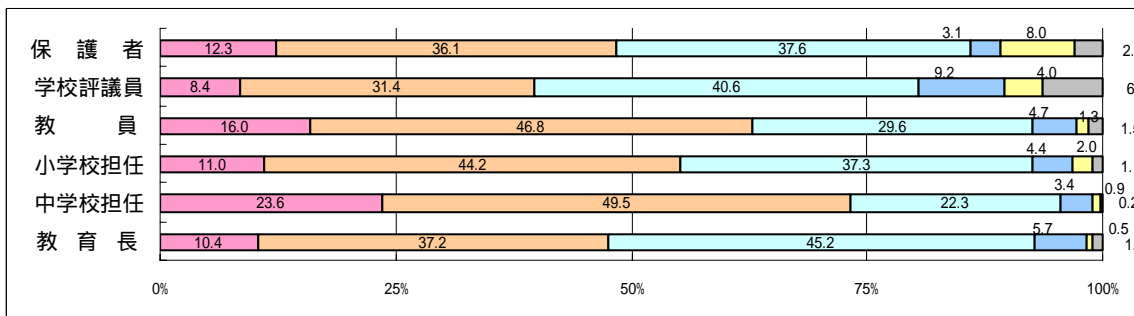
### 教科で学んだ知識や技能を実際の場面で活用できるようになる



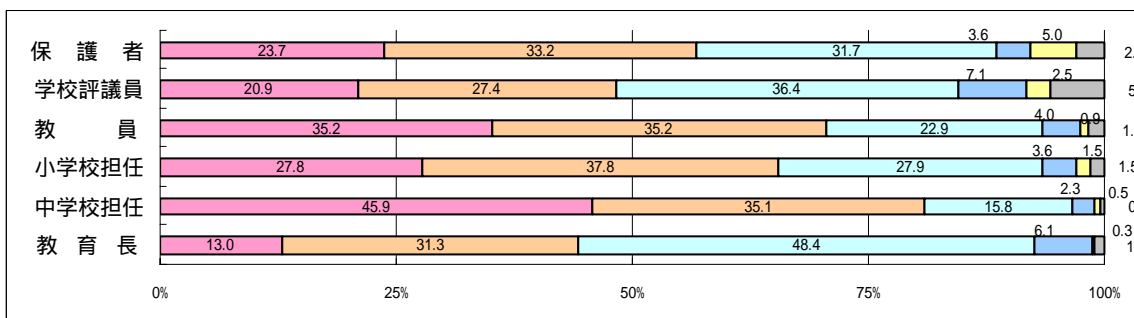
### 教師の力量や熱意に差があり指導にばらつきが出る



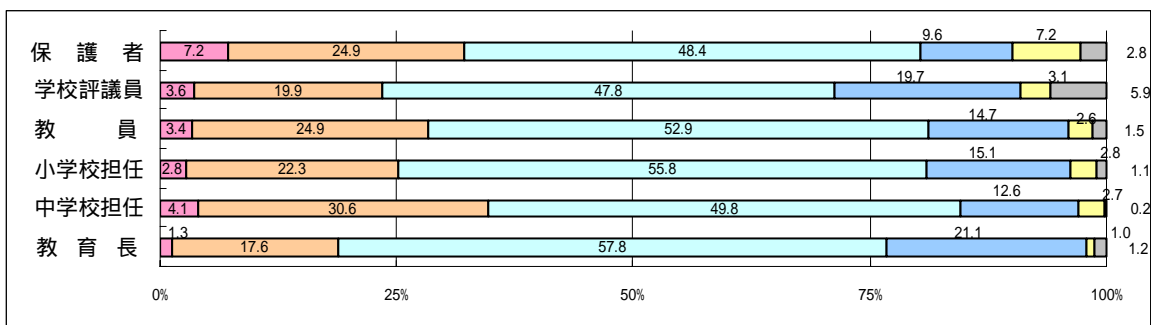
### 単なる体験になっており、教科との関連が不十分で学力が身につかない



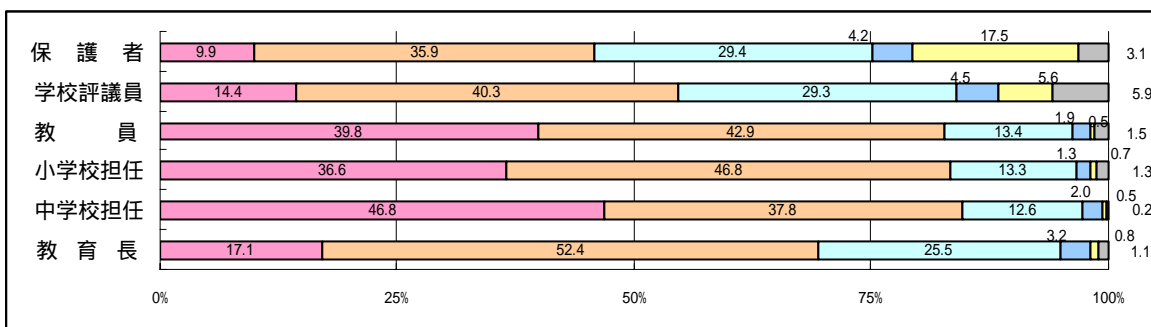
### 教科の時間が減っており、基礎的・基本的な内容の学習がおろそかになる



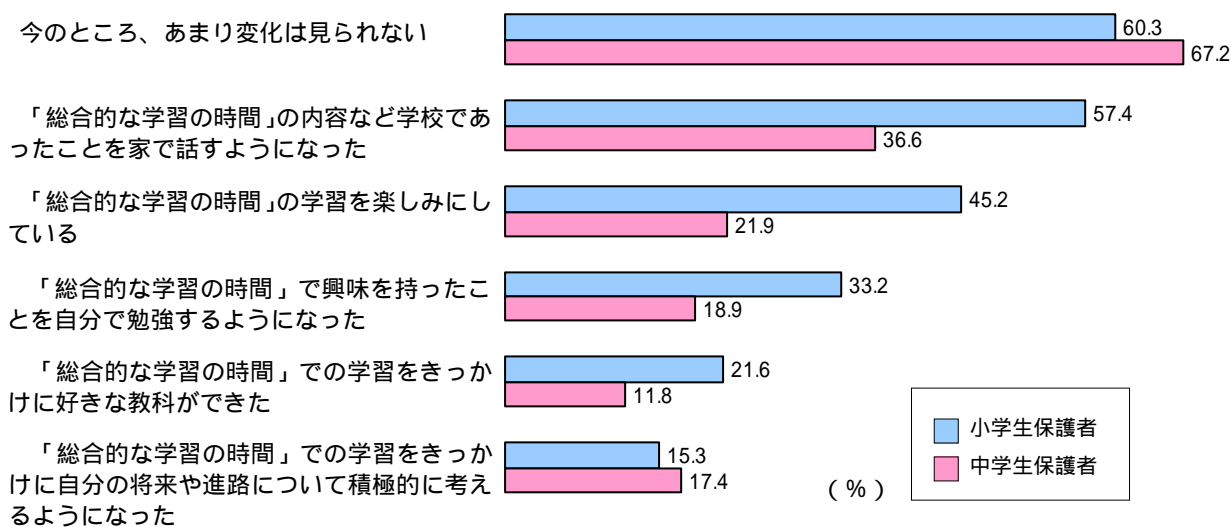
「総合的な学習の時間」で学んだことは実生活や受験で役に立たない



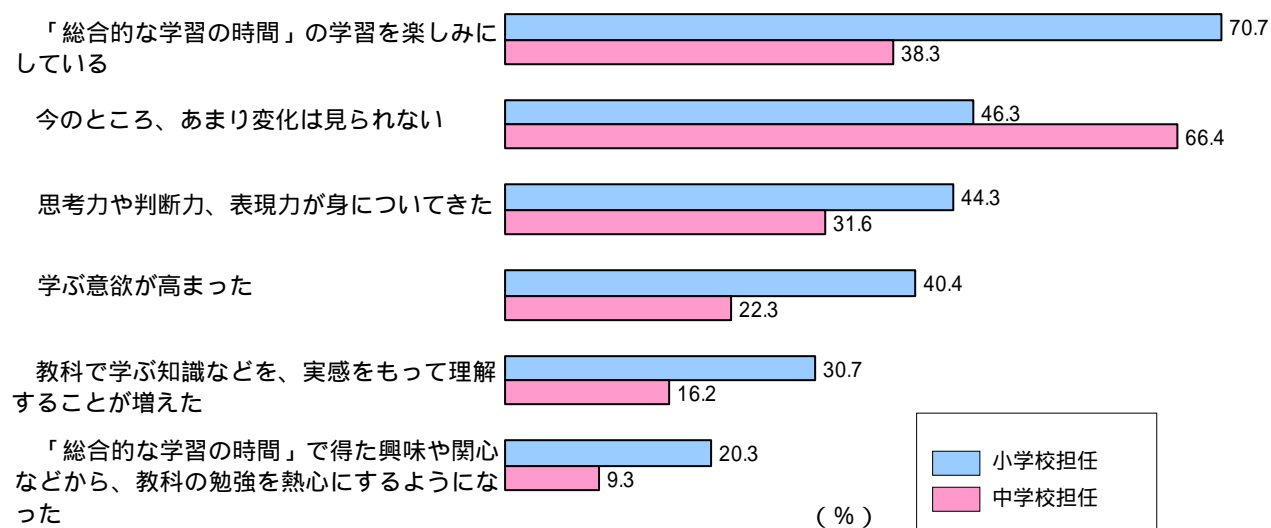
教材作成や打ち合わせなど授業の準備に時間がかかり、教師の負担が大きくて大変だ



「総合的な学習の時間」による子どもの変化（保護者）  
 （「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計）

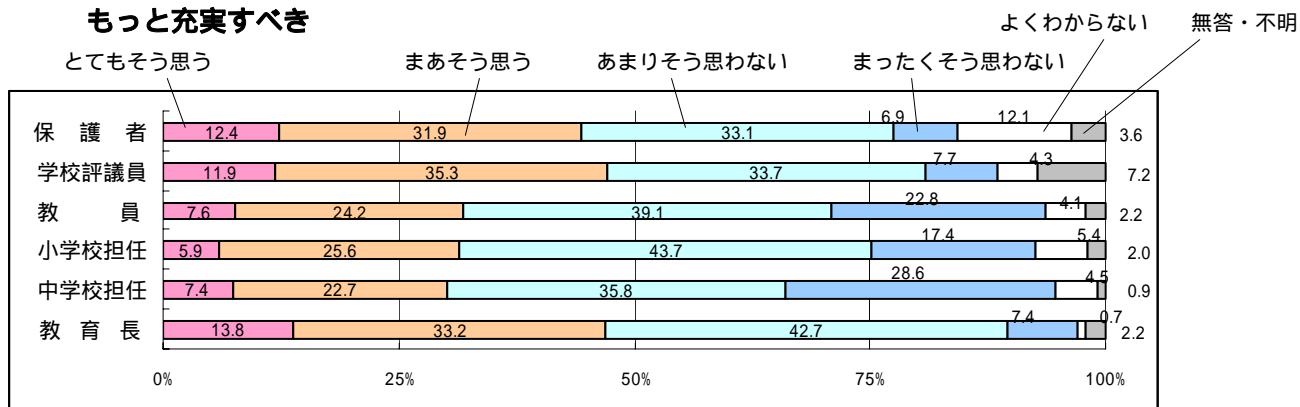


総合的な学習の時間による子どもの変化（教員）  
 （「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計）

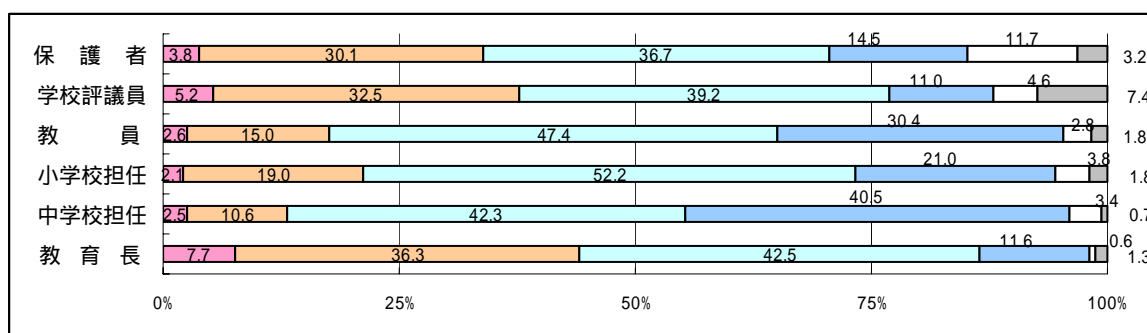


## 「総合的な学習の時間」の今後の在り方

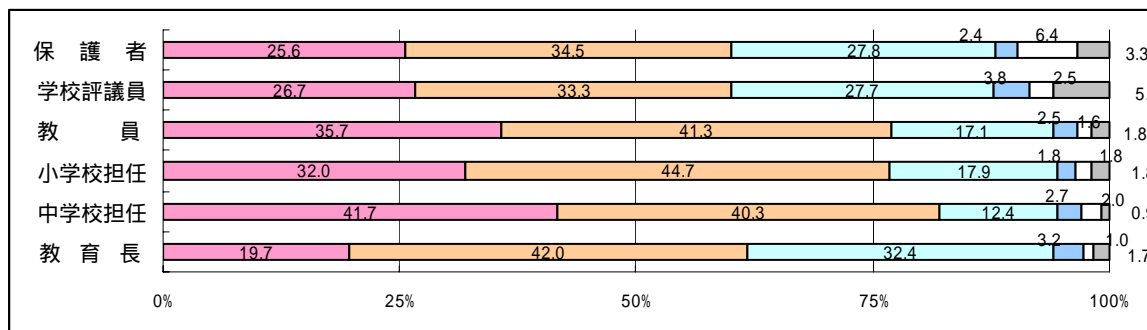
### もっと充実すべき



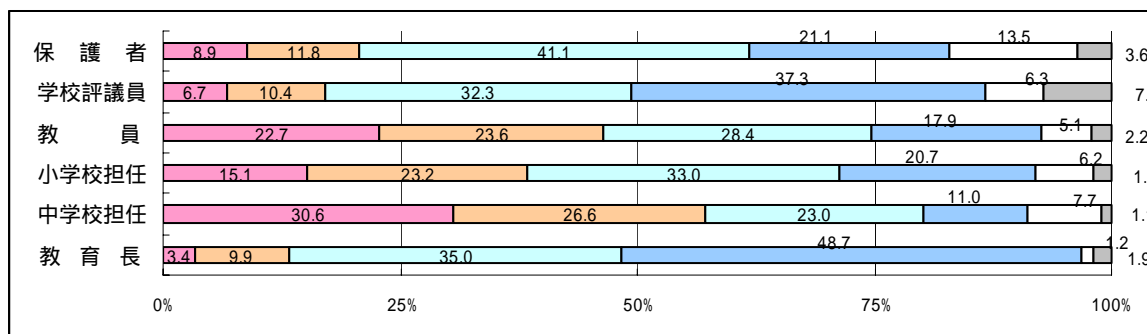
### このままでよい



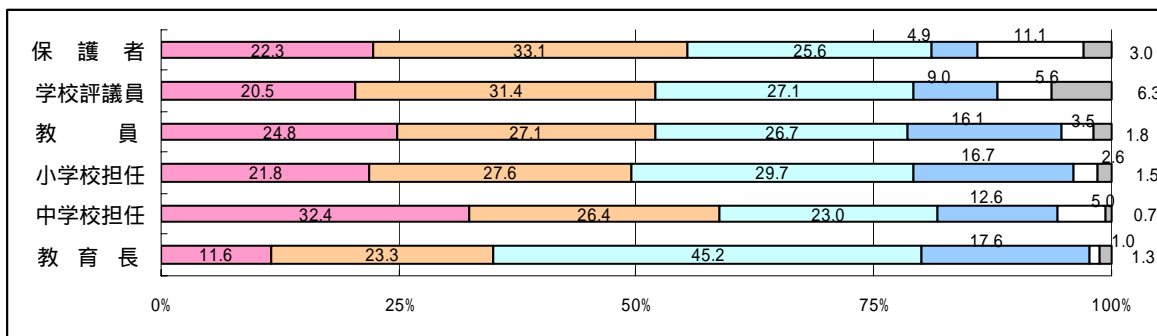
### もっと国語や算数・数学など教科の学習を重視すべき



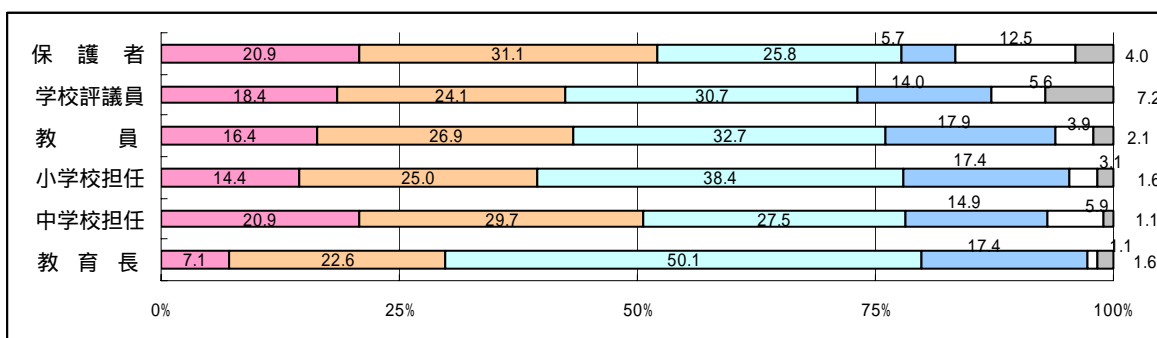
### なくした方がよい



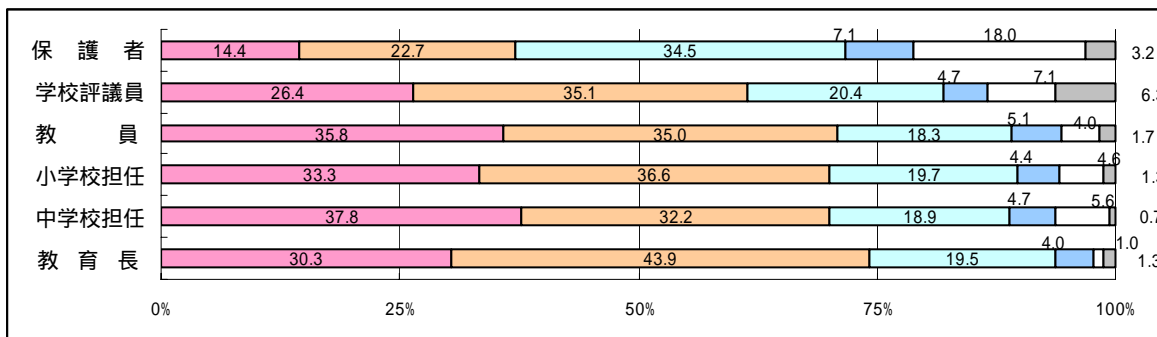
### 「総合的な学習の時間」を担当する専門の先生を置くべき



### 国で指導内容や学習活動を明確に示すべき



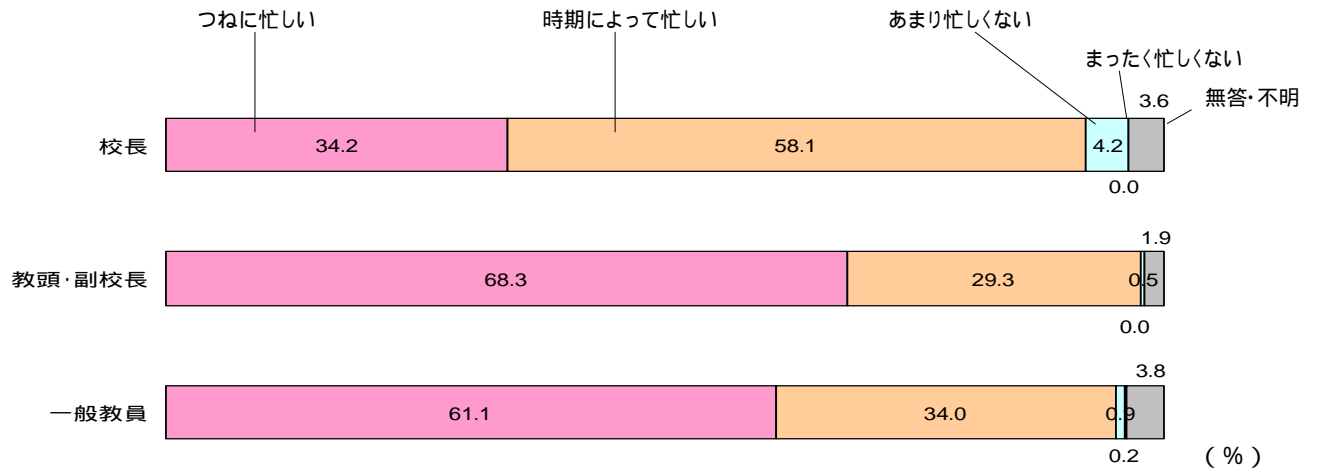
### 必要な経費をもっと増やすべき



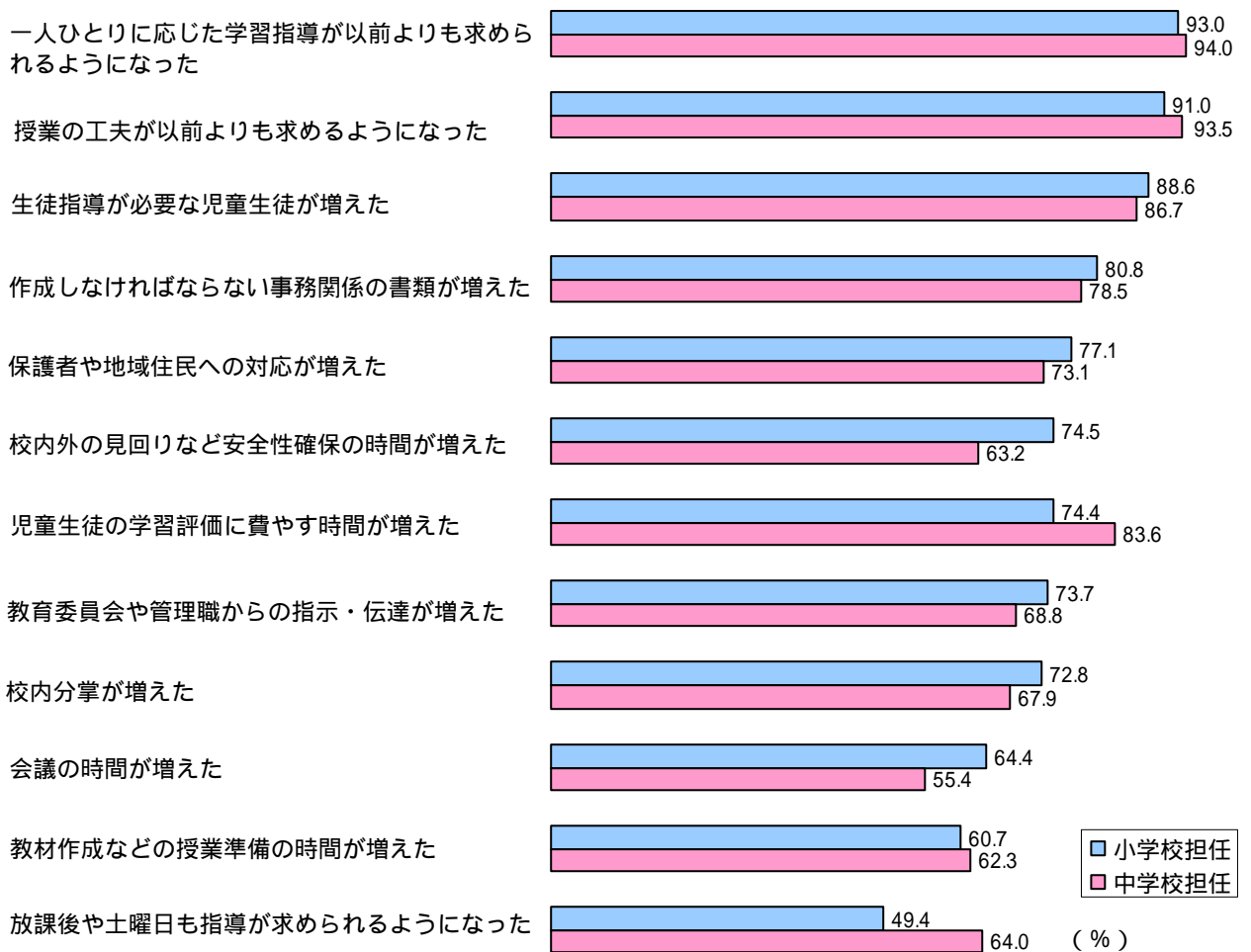


## 5 教員の勤務の状況

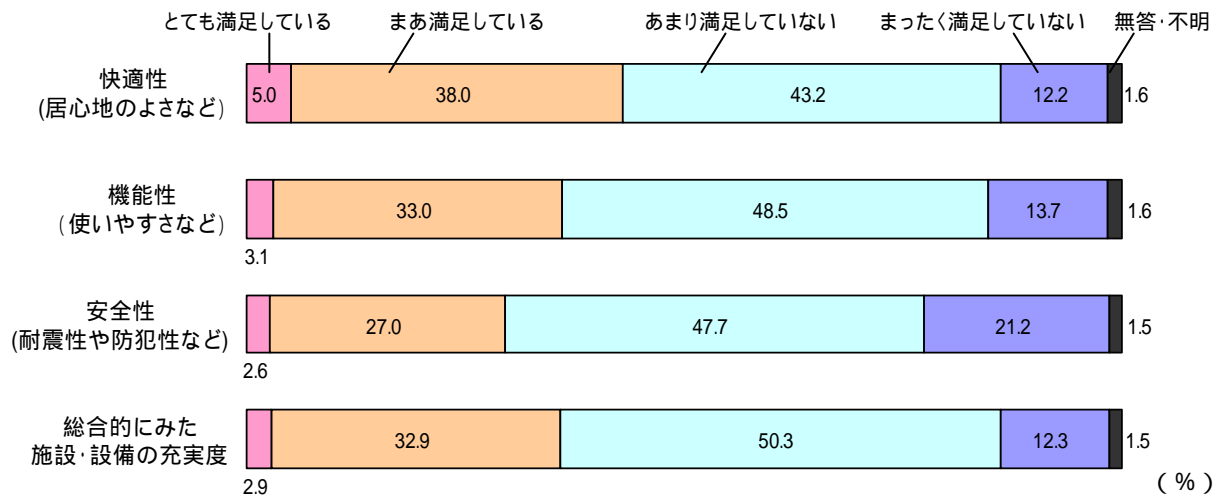
### 職務の忙しさ



### 勤務について感じる事(「とても感じる」「まあ感じる」の合計)



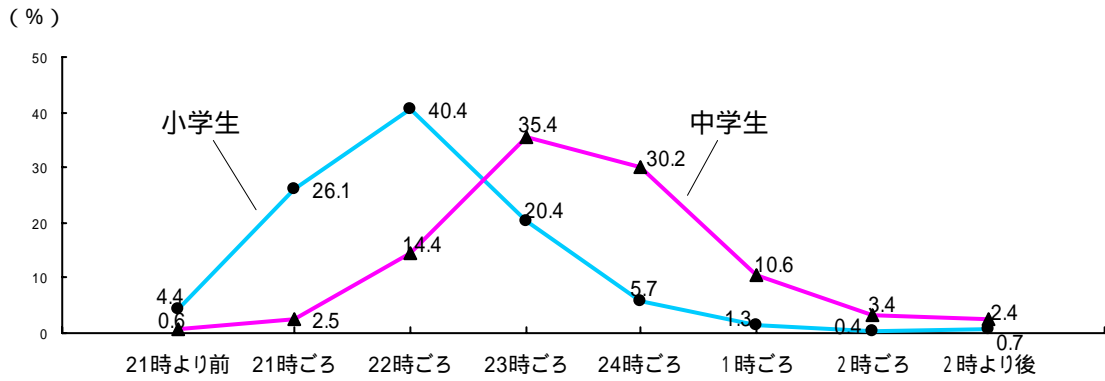
## 学校の施設や設備の満足度



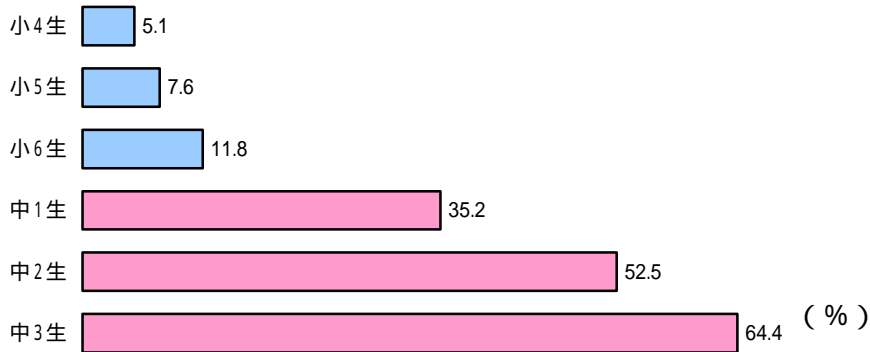
# 学校外での生活はどうなっているか

## 1 小・中学生の学校外での生活

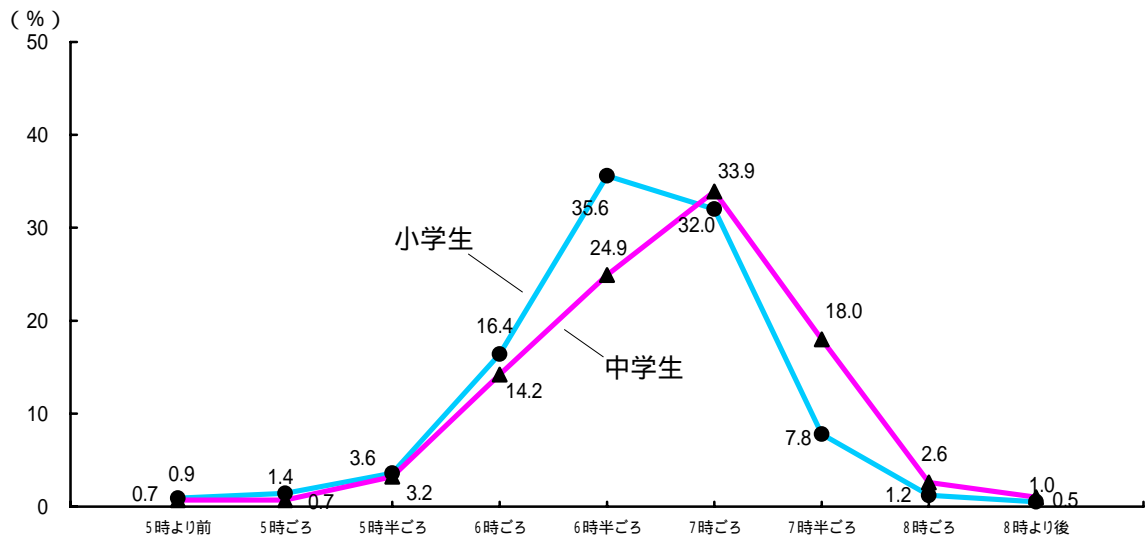
### 平日の就寝時間



### 平日 24 時以降に就寝する割合

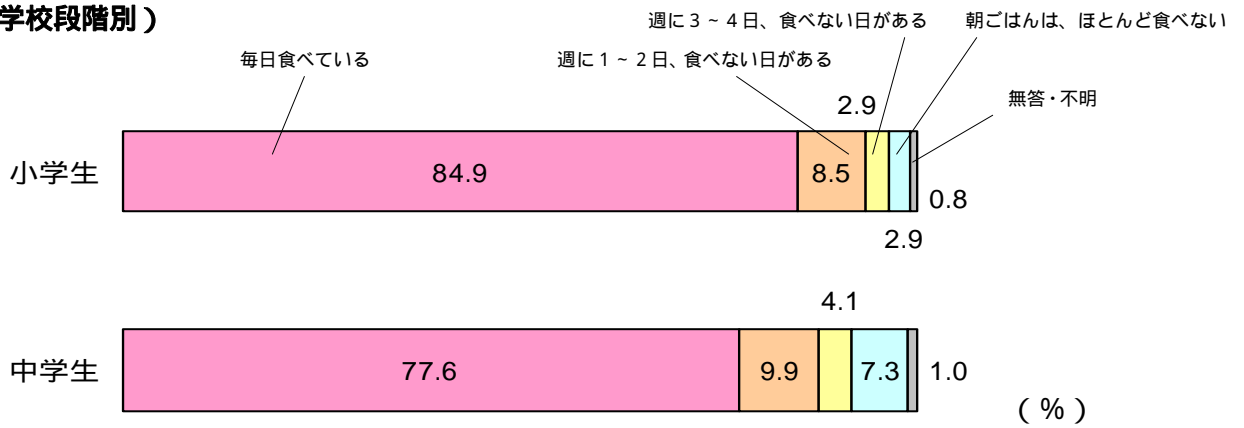


### 平日の起床時間

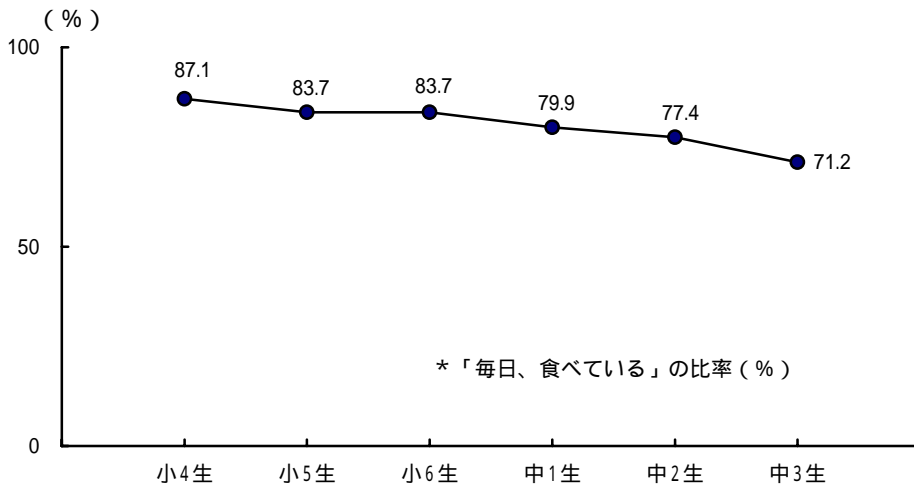


## 朝食をとる割合

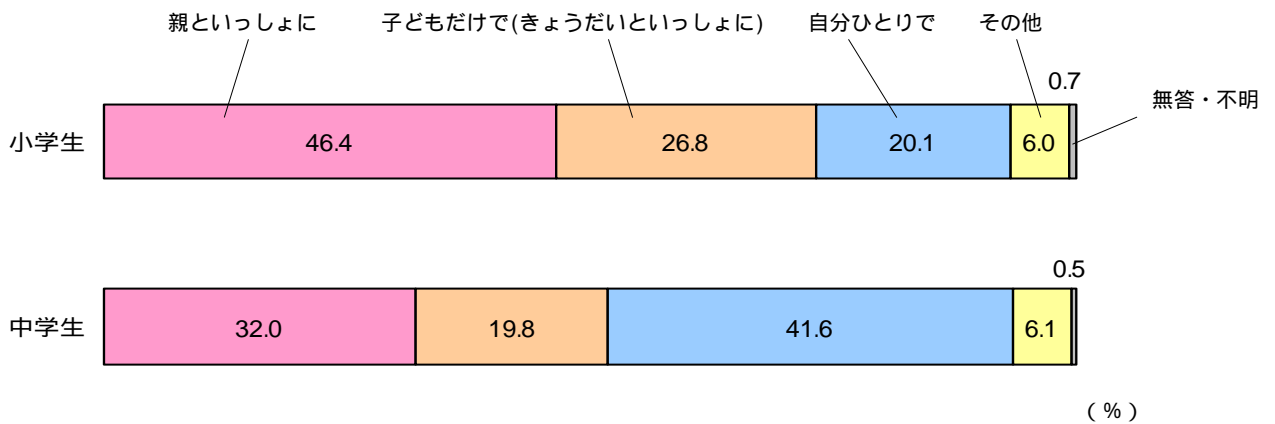
### (学校段階別)



### (学年別)

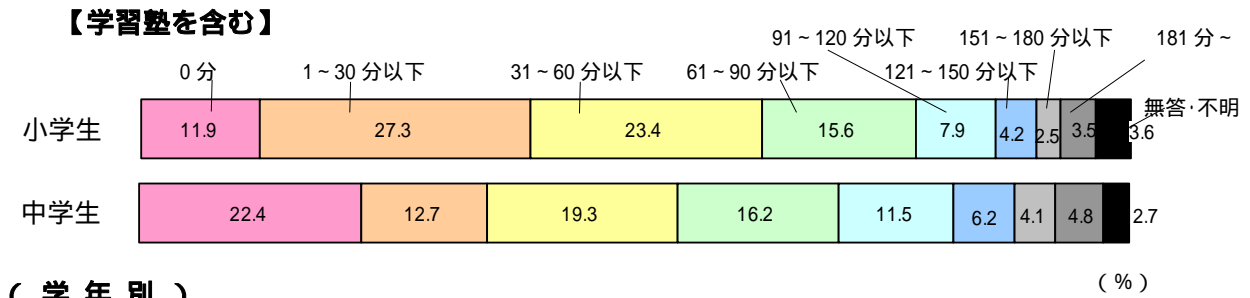
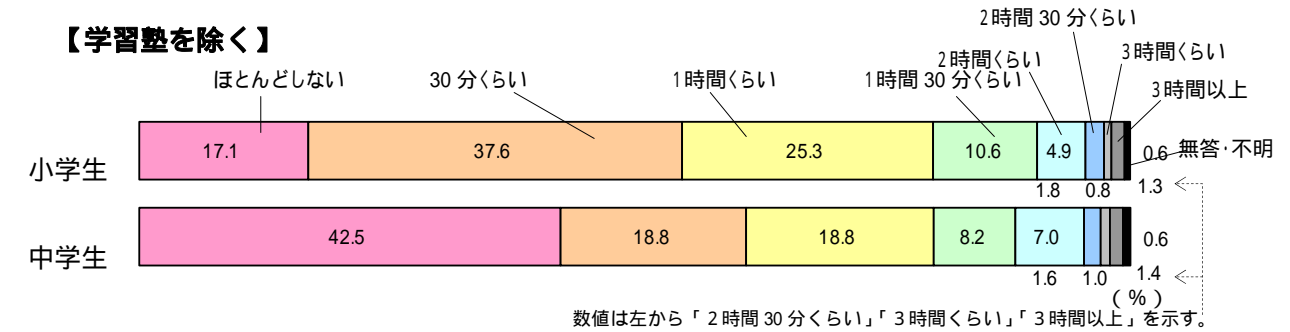


### いっしょに朝食をとる人

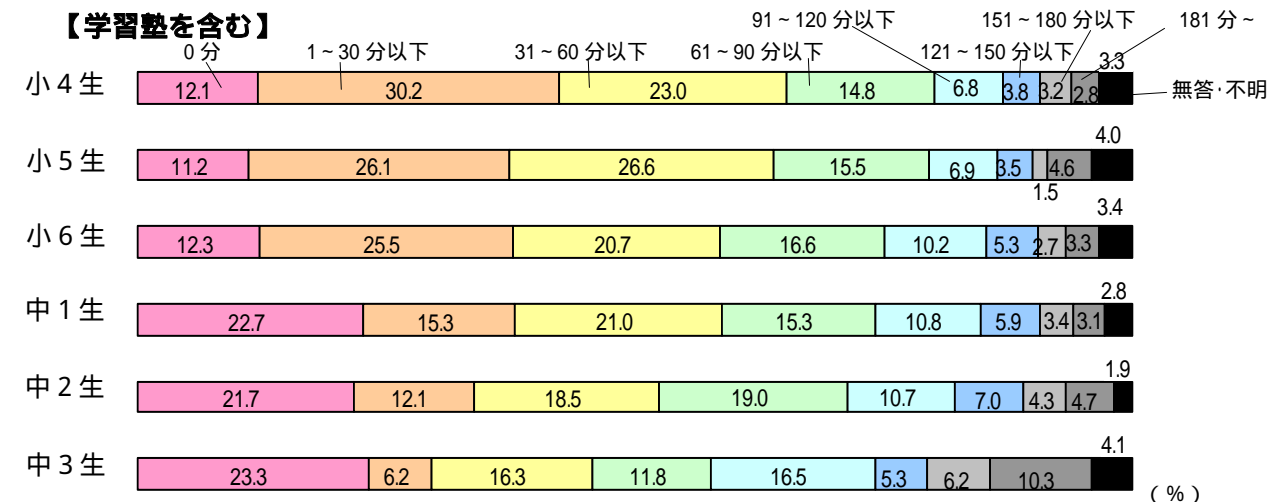
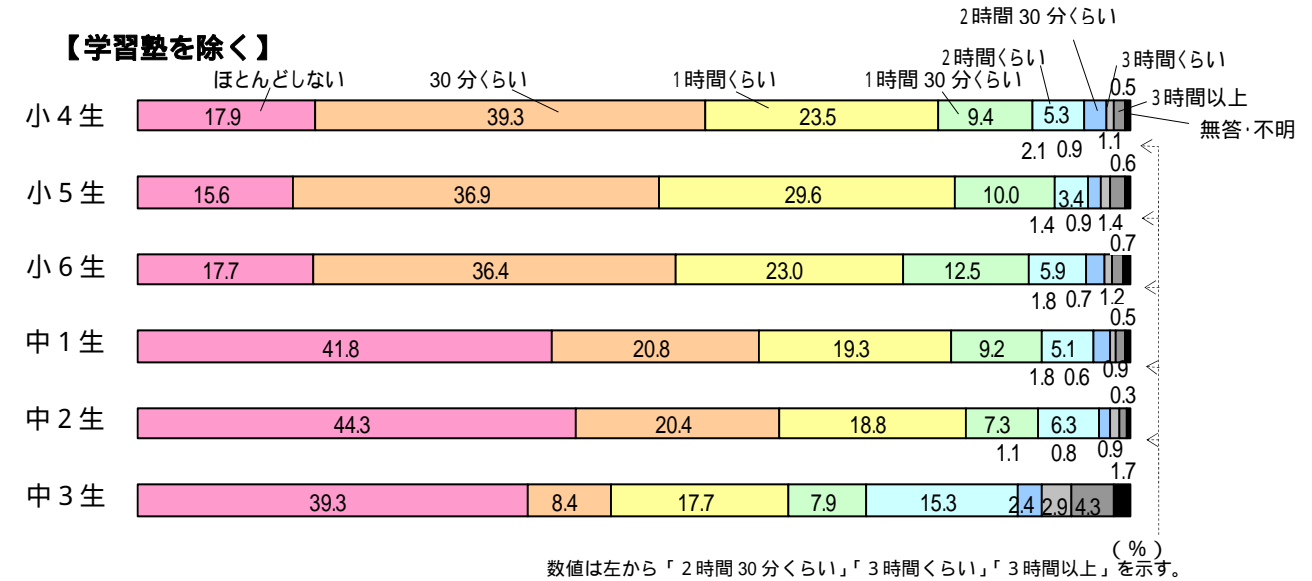


## 平日の家庭学習時間

### (学校段階別)



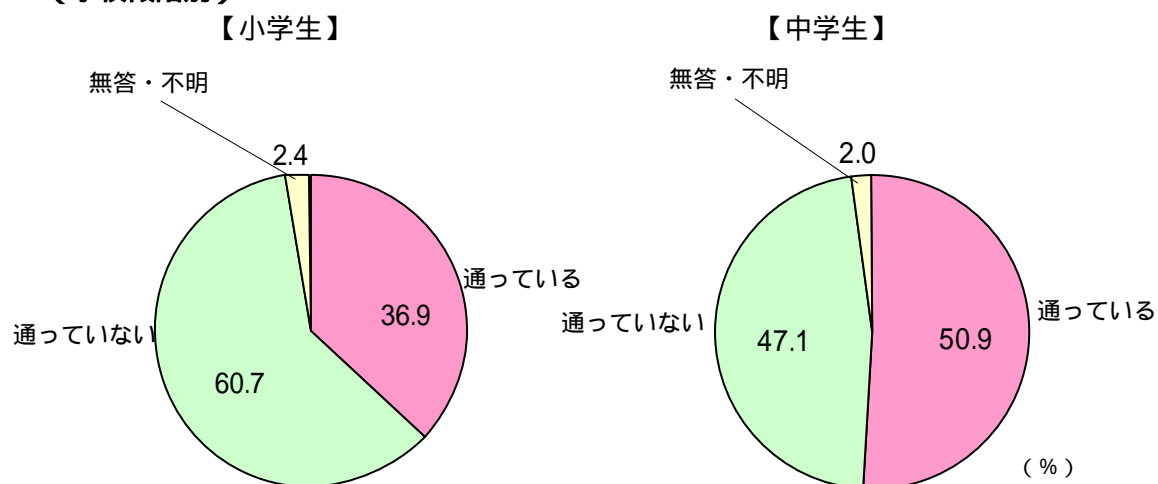
### (学年別)



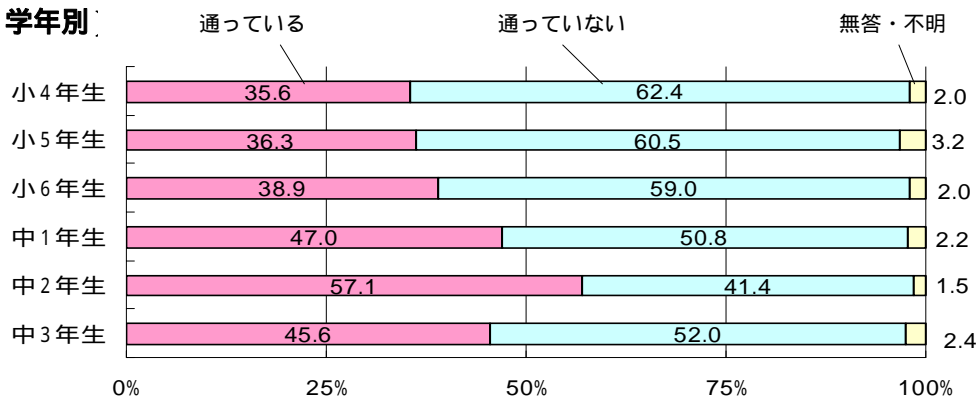
「学習塾を含む」のデータは、通塾の状況に関する別の問への回答を合わせて算出した推計値である。なお、「0分」に分類されるのは、学習塾に通っておらず、かつ家庭学習時間について「ほとんどしない」と回答した者である。

## 通塾の状況

### (学校段階別)

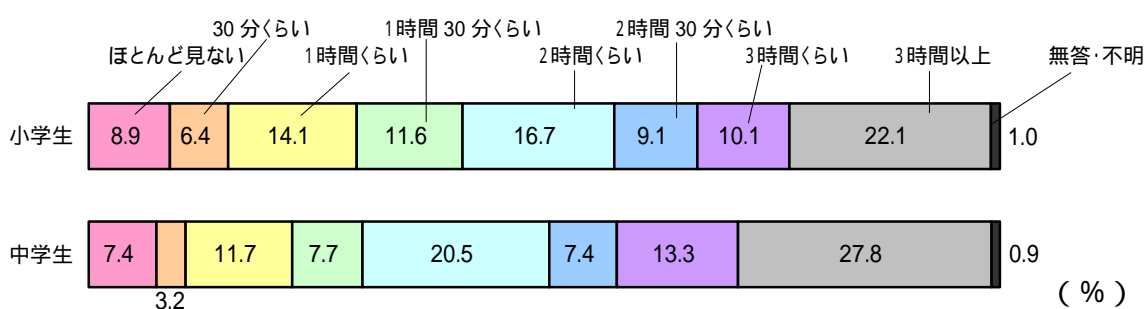


### (学年別)

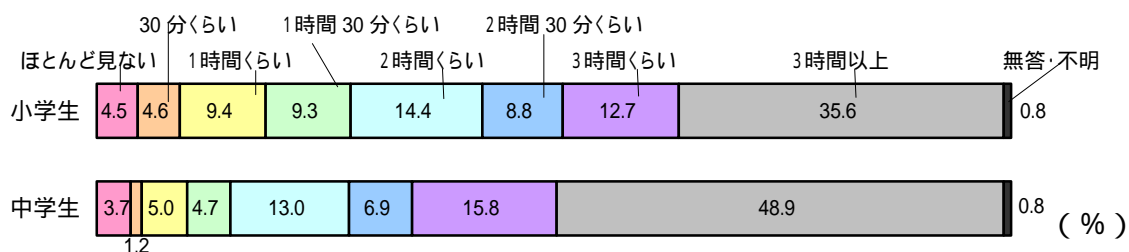


中学生3年生のデータについては、調査時期が3月中旬～下旬であったことを考慮する必要があると考えられる

## 平日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間

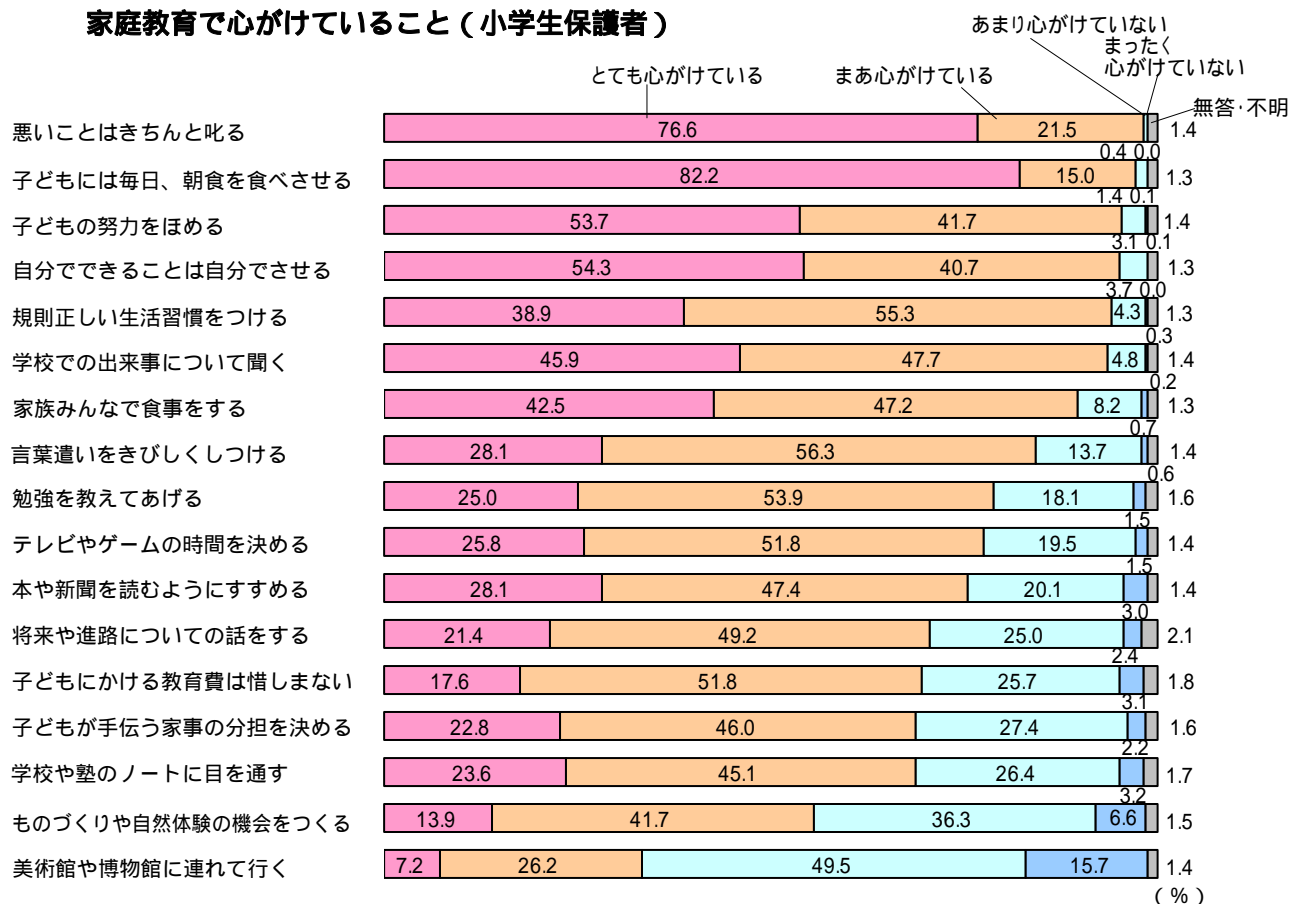


## 休日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間

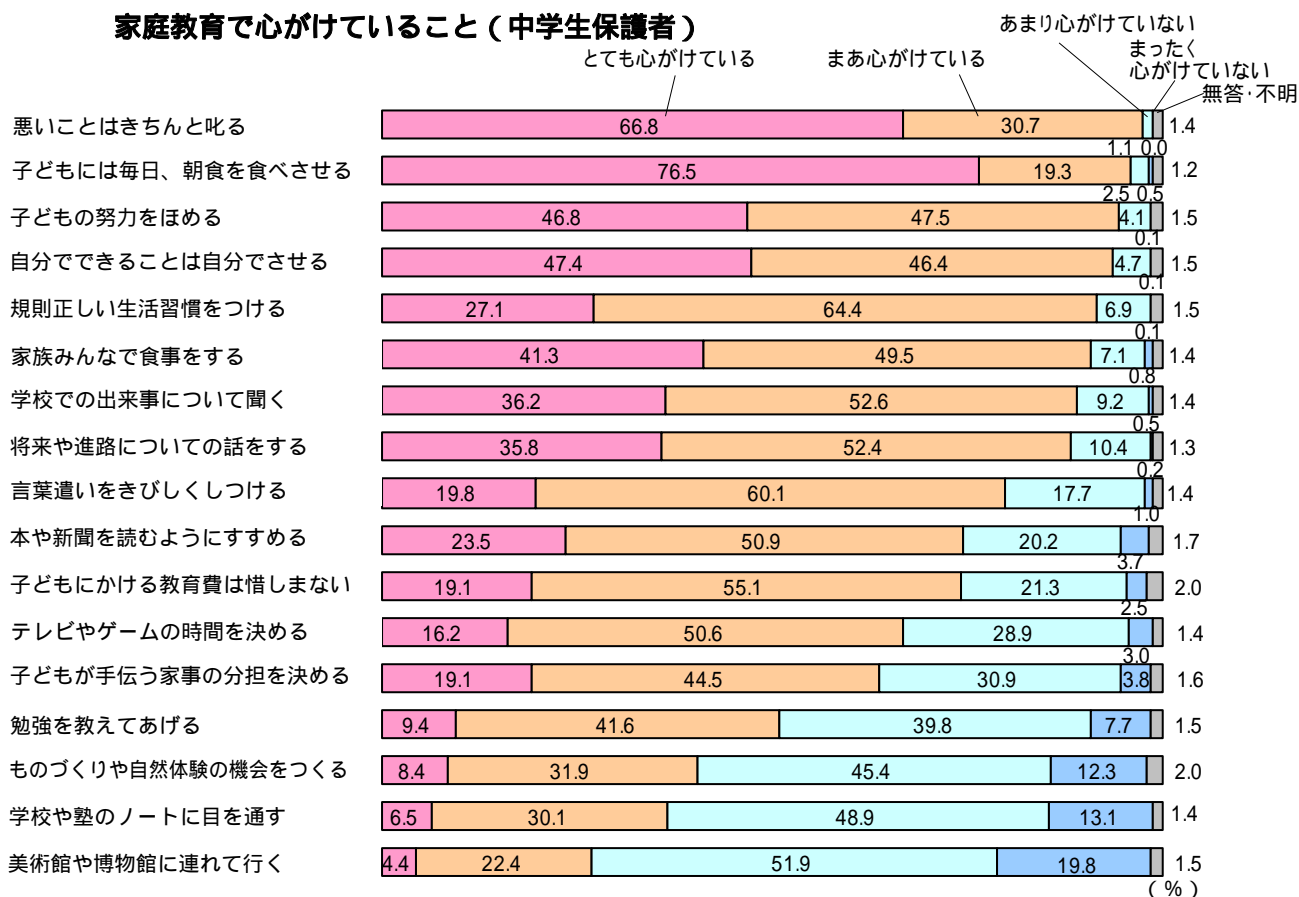


## 2 保護者が家庭教育で心がけていること

### 家庭教育で心がけていること（小学生保護者）

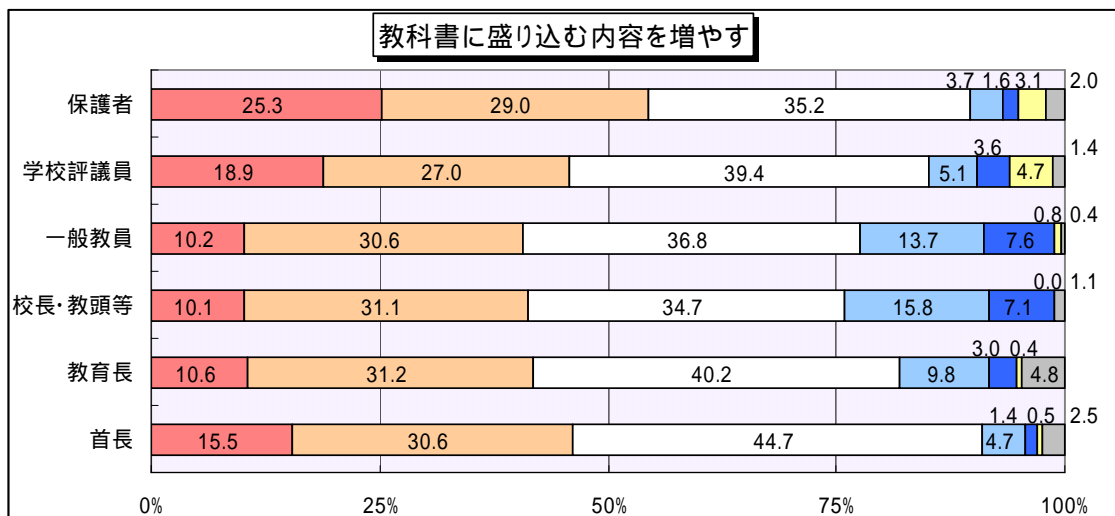
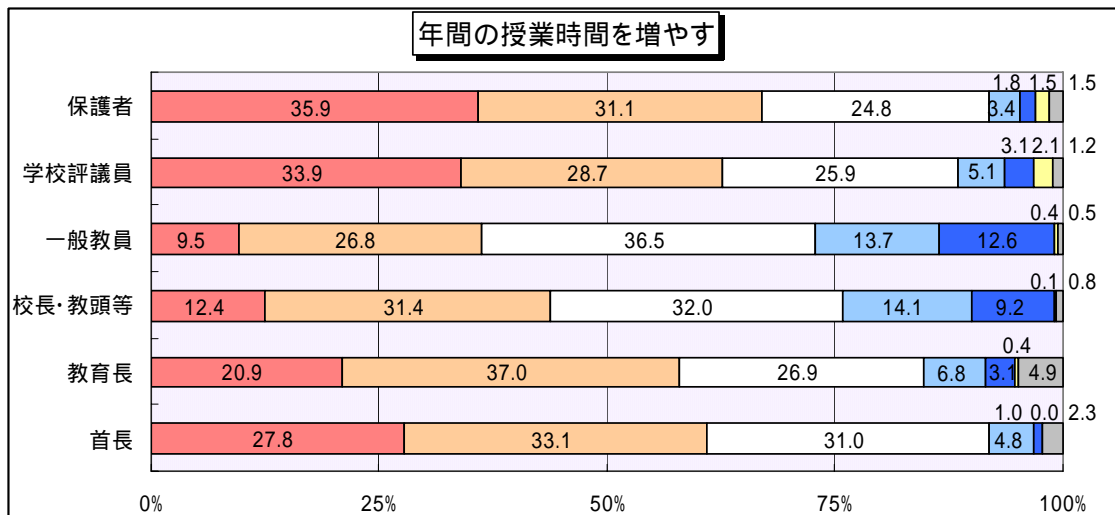
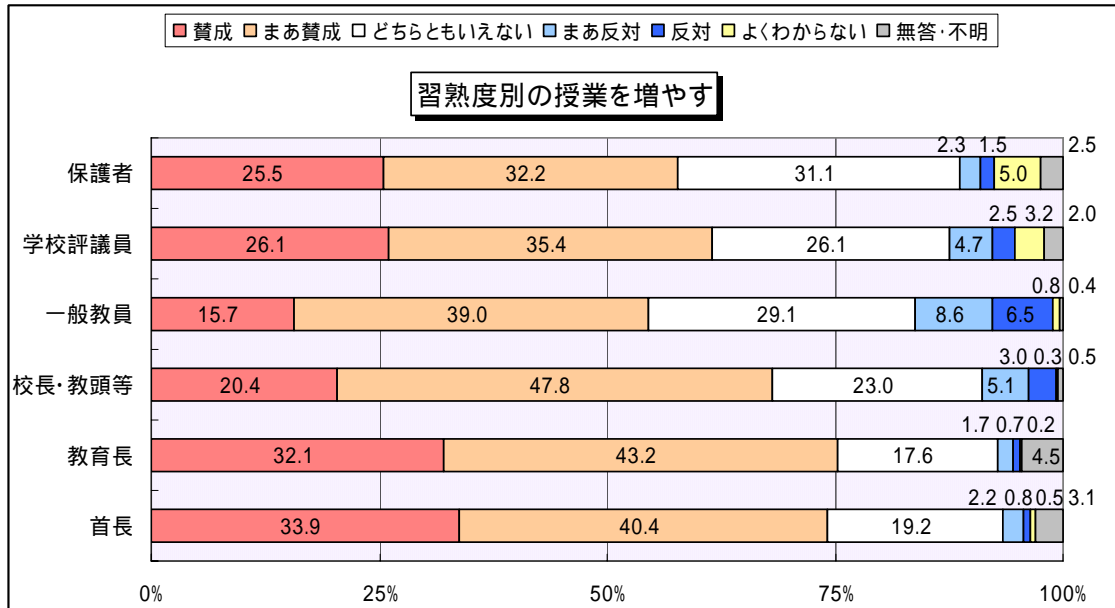


### 家庭教育で心がけていること（中学生保護者）



# 教育改革の方策についてどのように考えているか

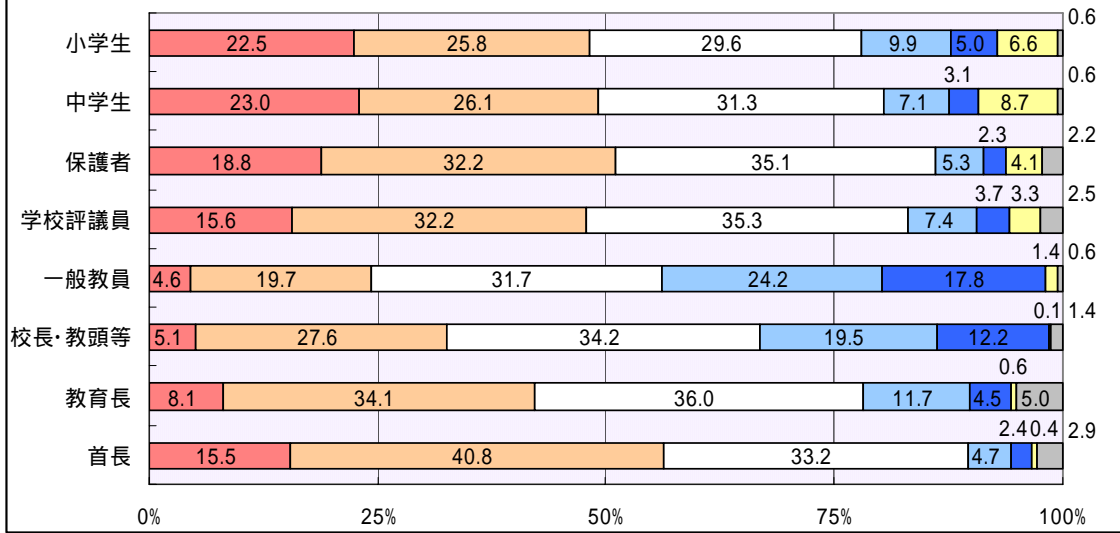
## 1 授業や学習指導要領に関する改革についての考え方



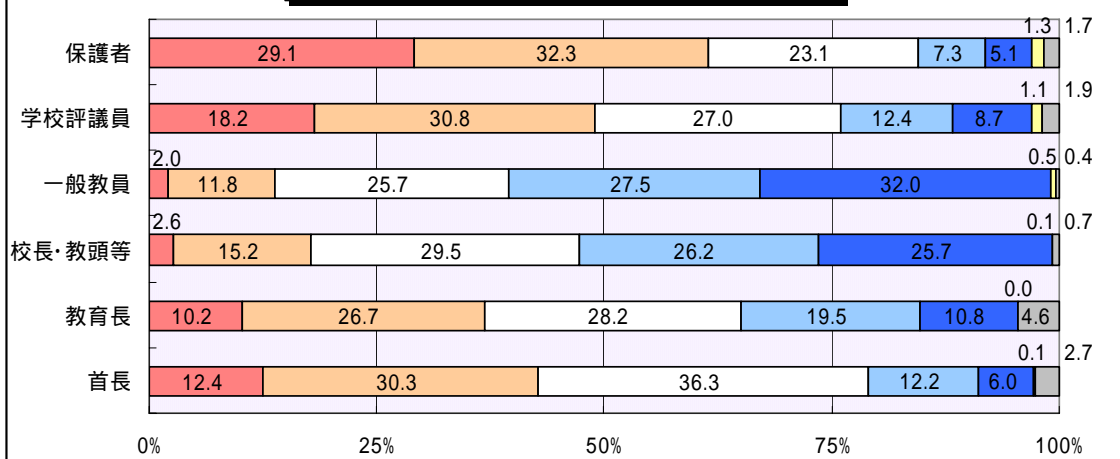


**選択教科などで学習内容の選択幅を広げる**

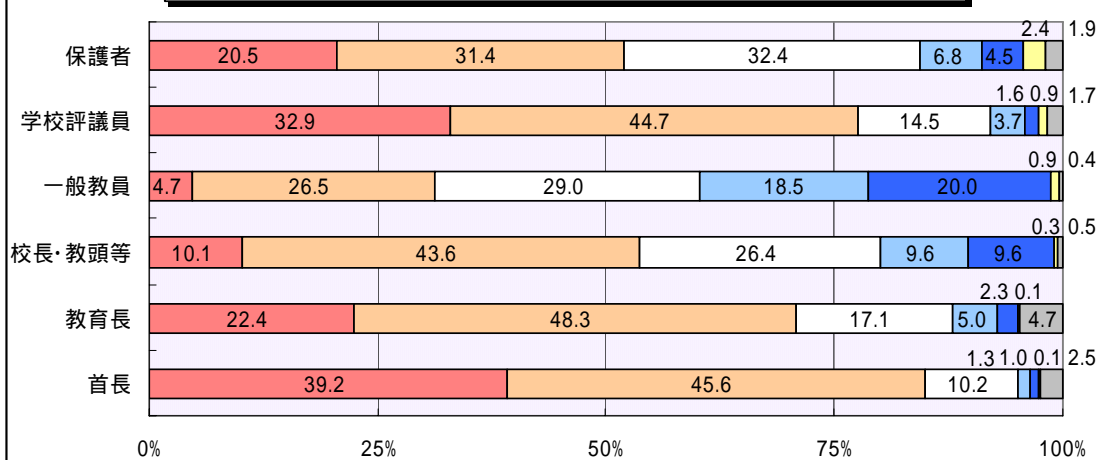
「勉強することをもっと選べるようにしてほしい」



**放課後や土曜日、夏休みなどに補習授業を行う**

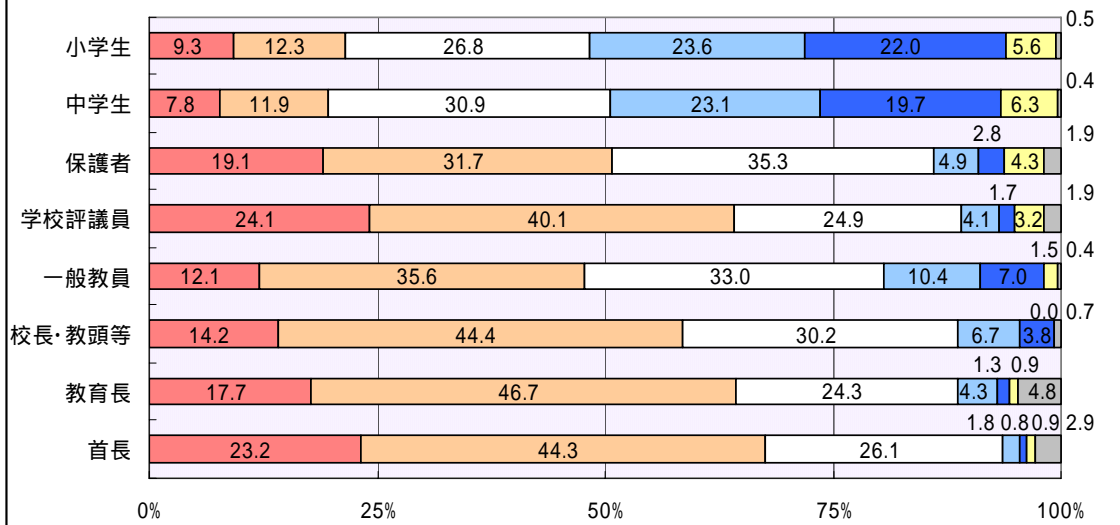


**放課後や土曜日、夏休みなどに学校行事や地域での体験活動を行う**

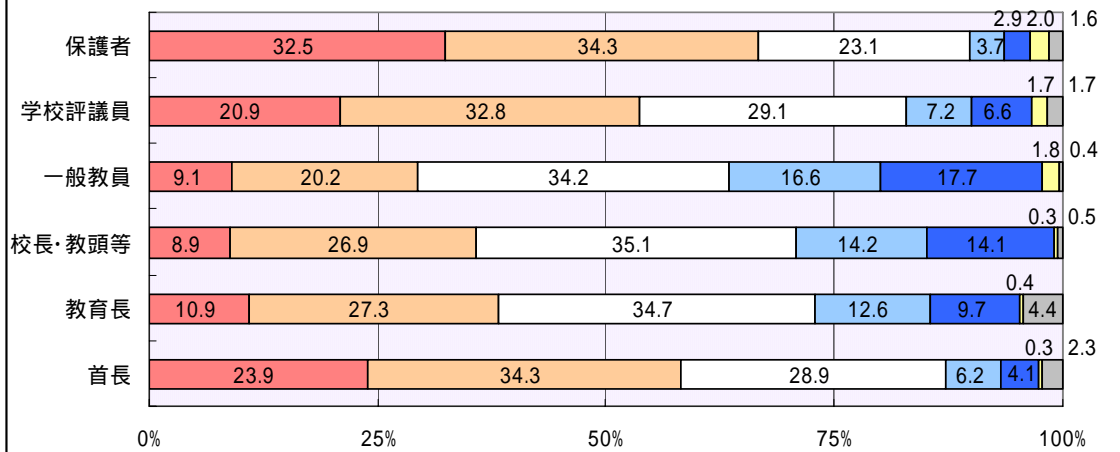


### ボランティアによる授業サポートを増やす

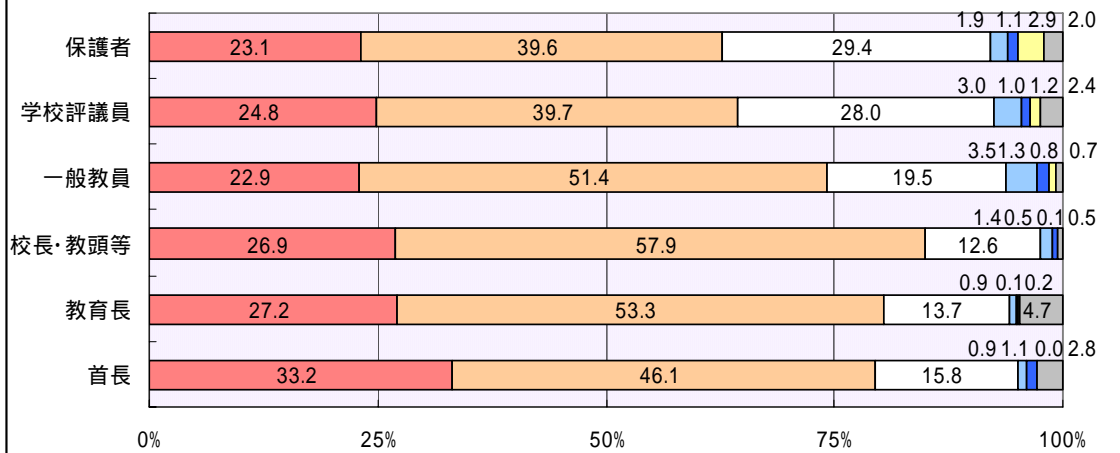
「大学生や地域のボランティアの人に勉強の手助けをしてほしい」

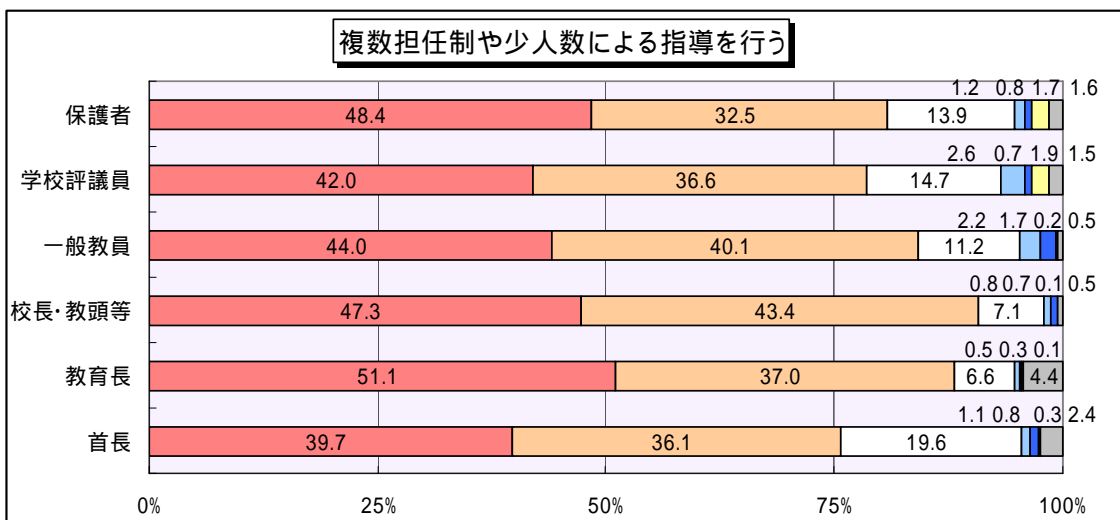
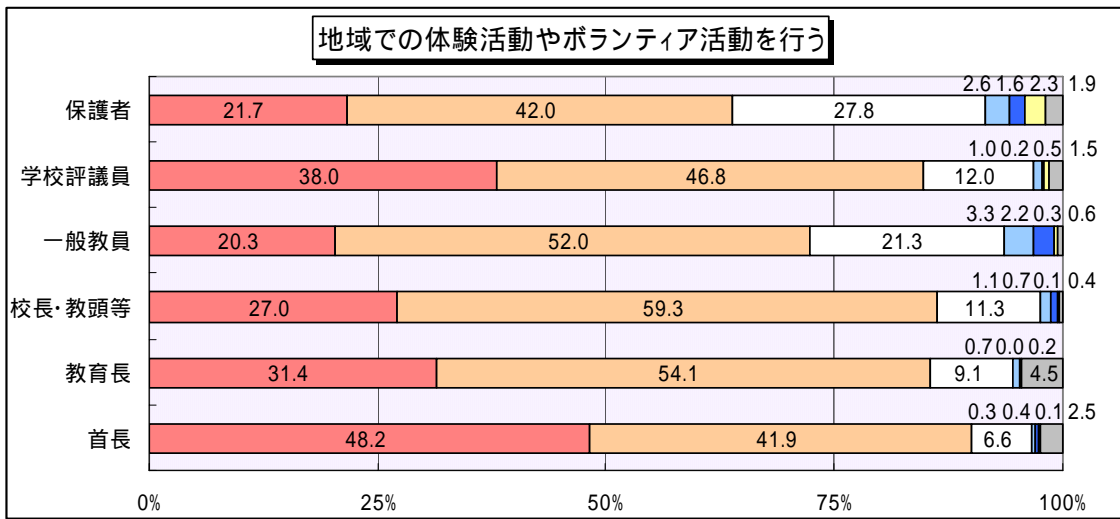


### 小学校から英語活動を必修にする

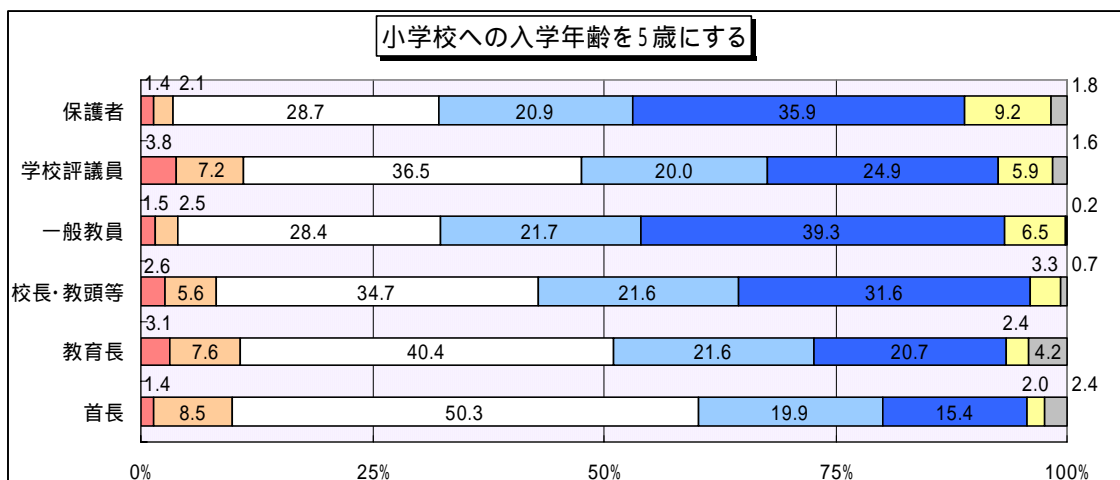
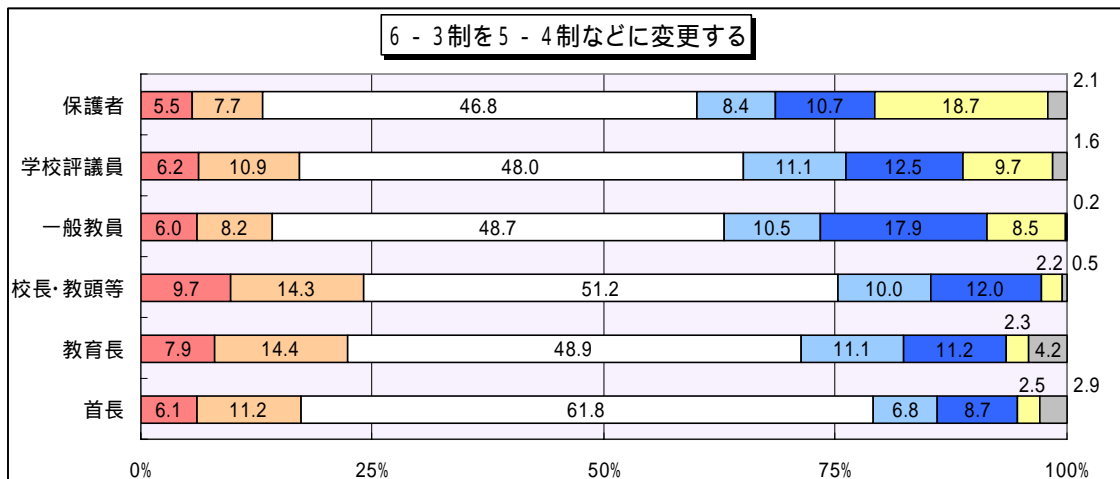
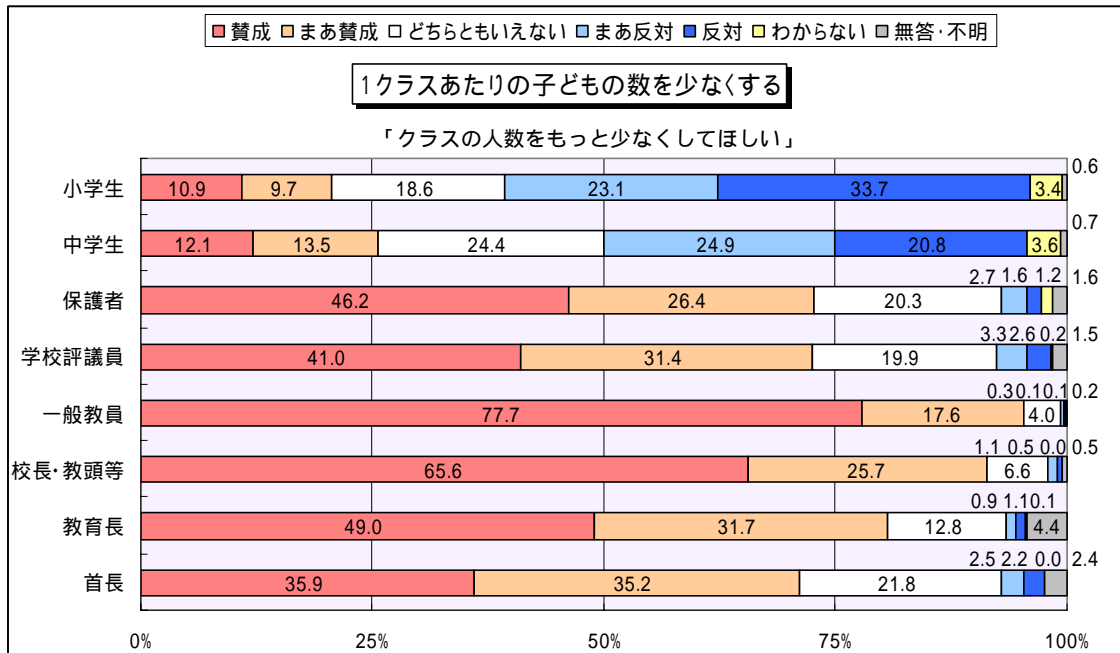


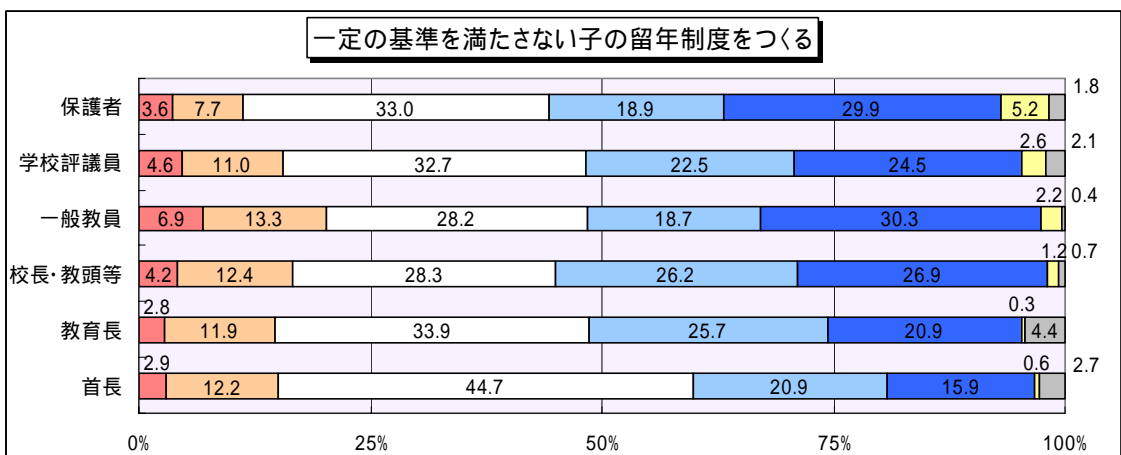
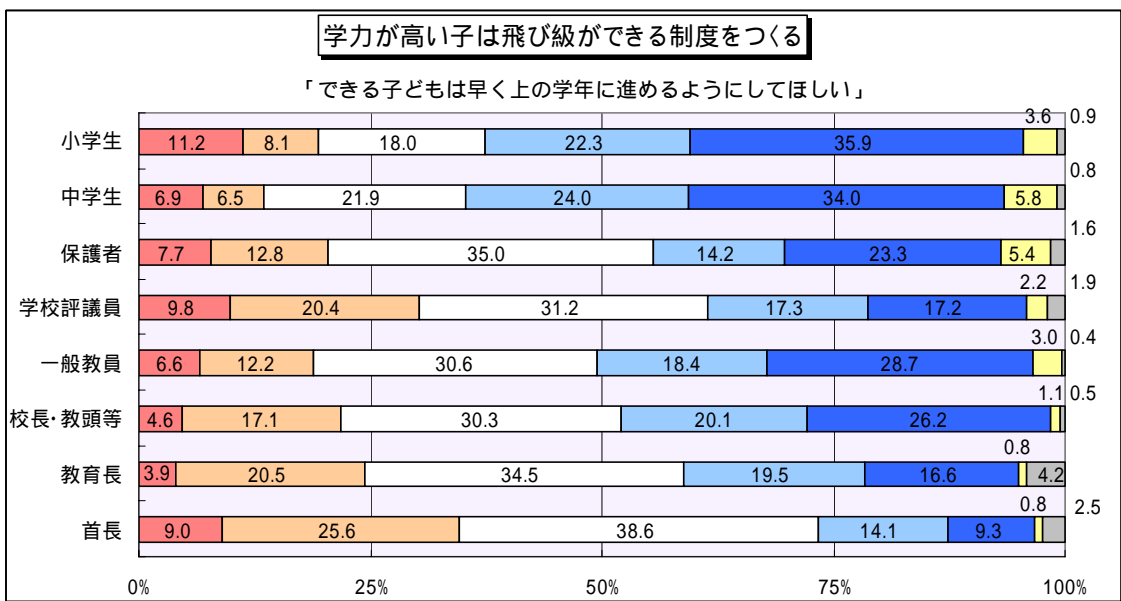
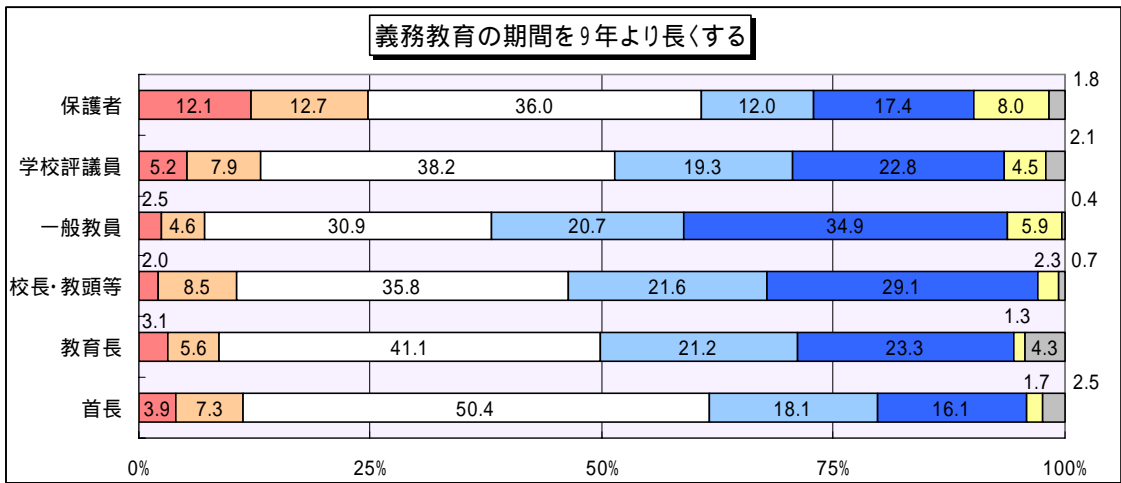
### 将来の職業や生き方についての指導を行う

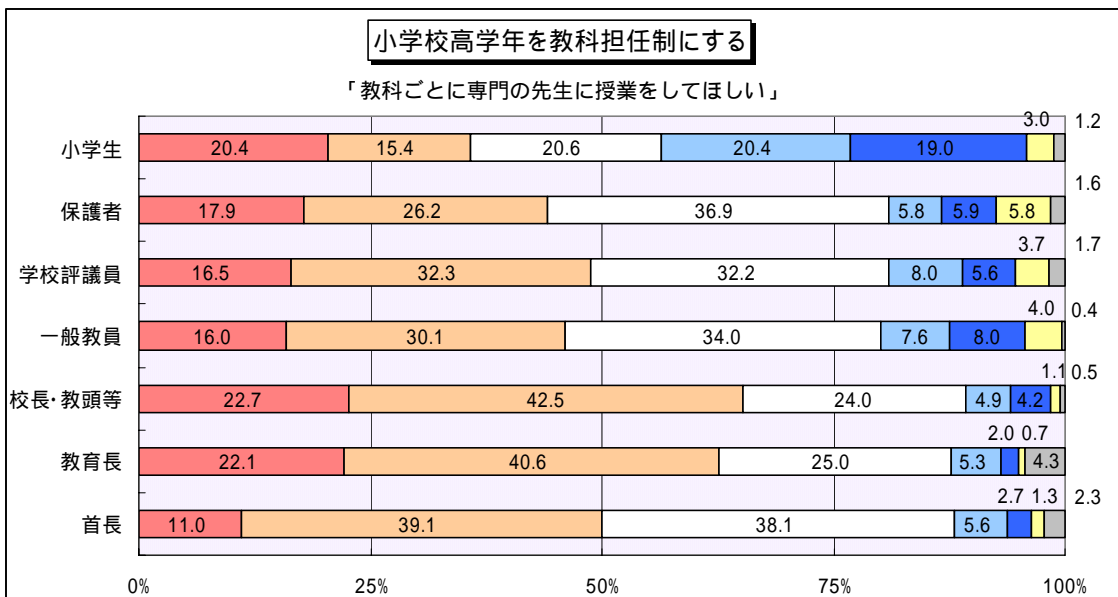
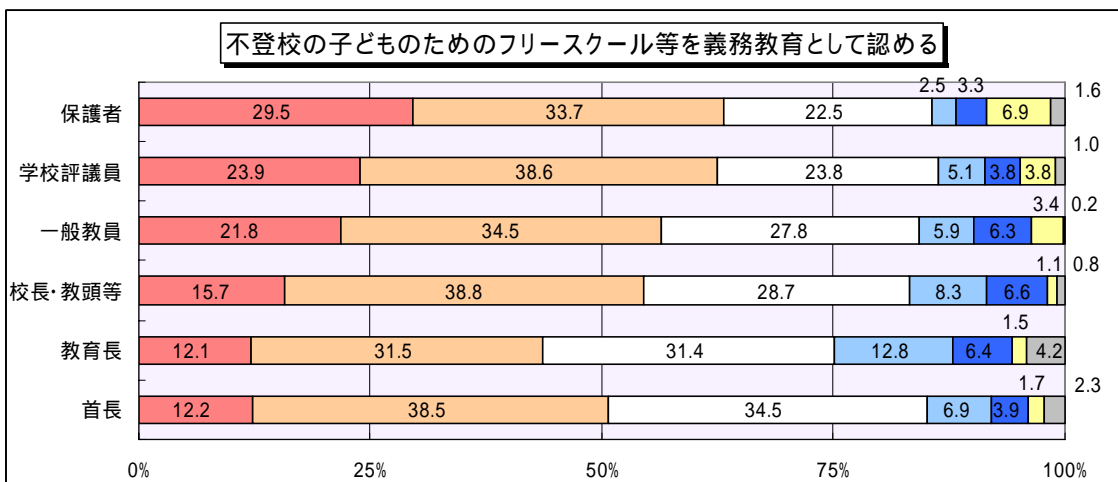
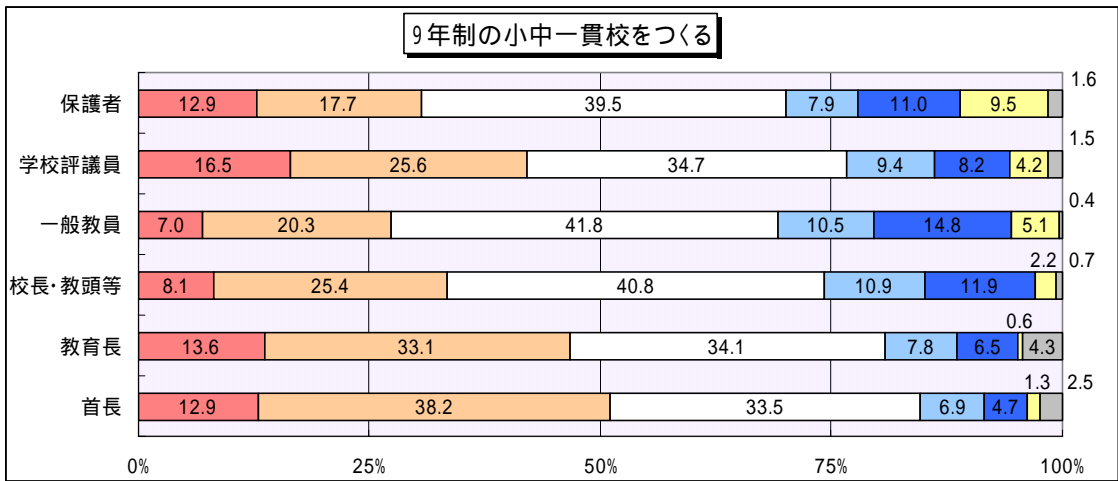




## 2 教育制度に関する改革についての考え方

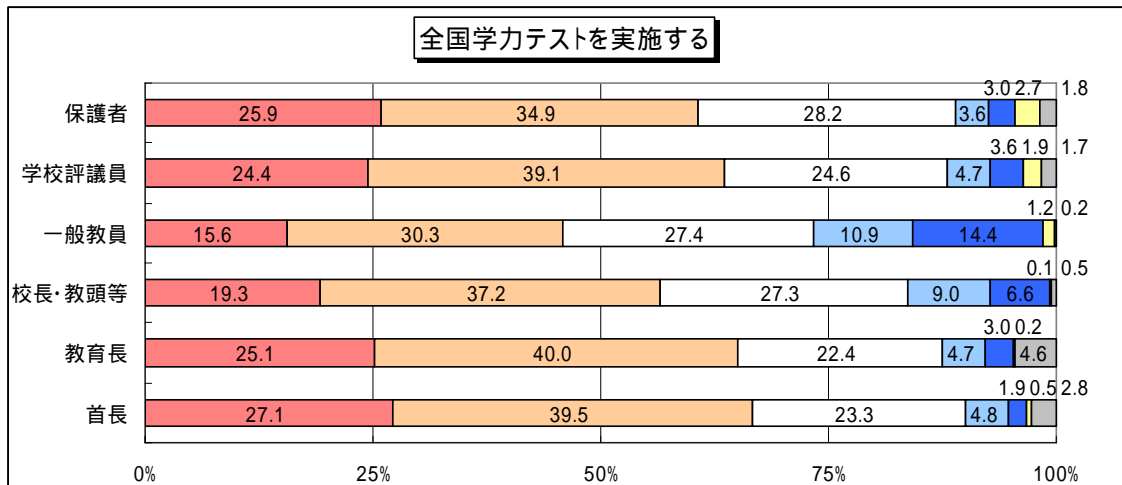
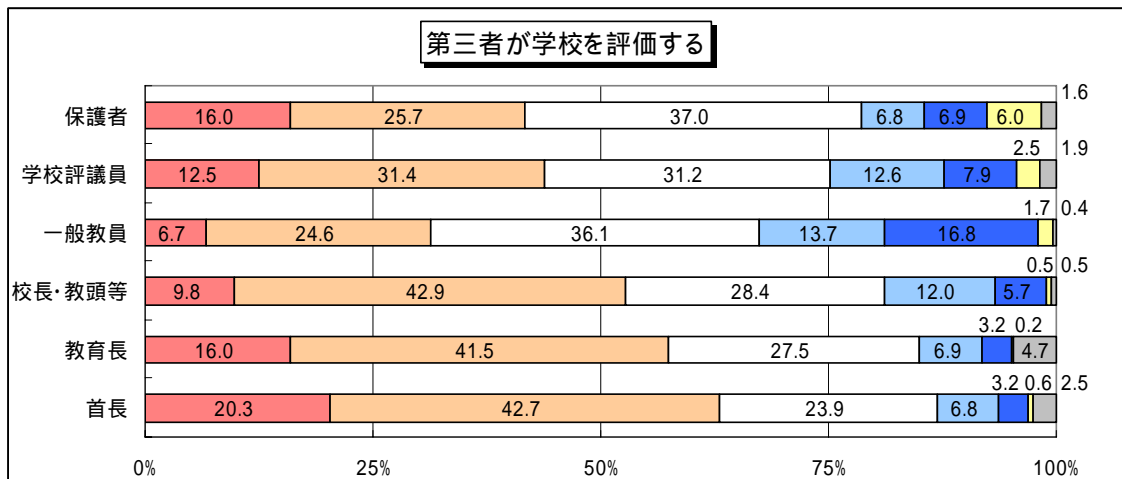
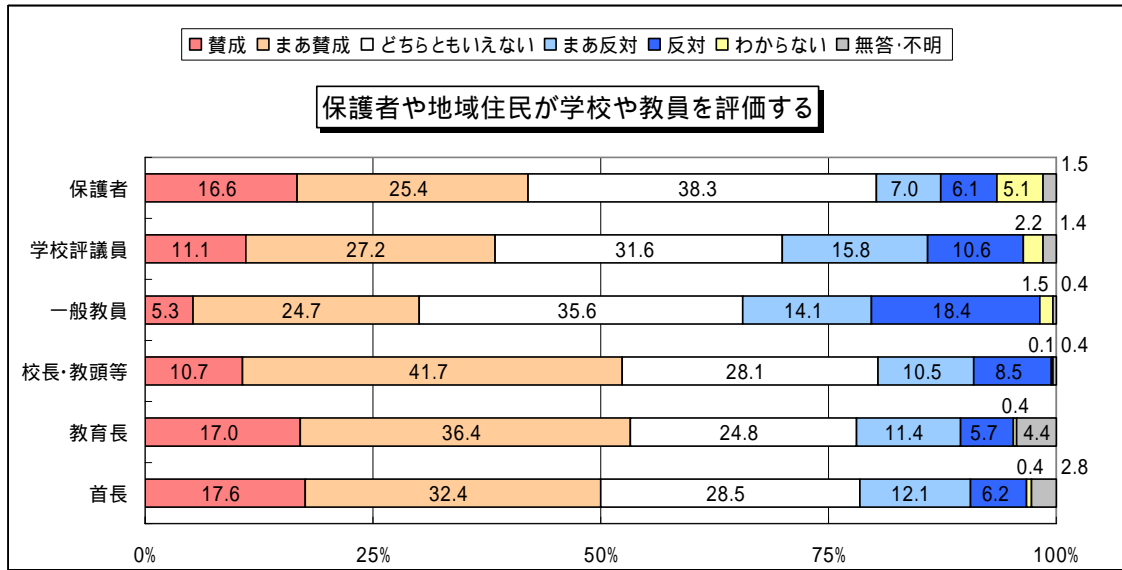




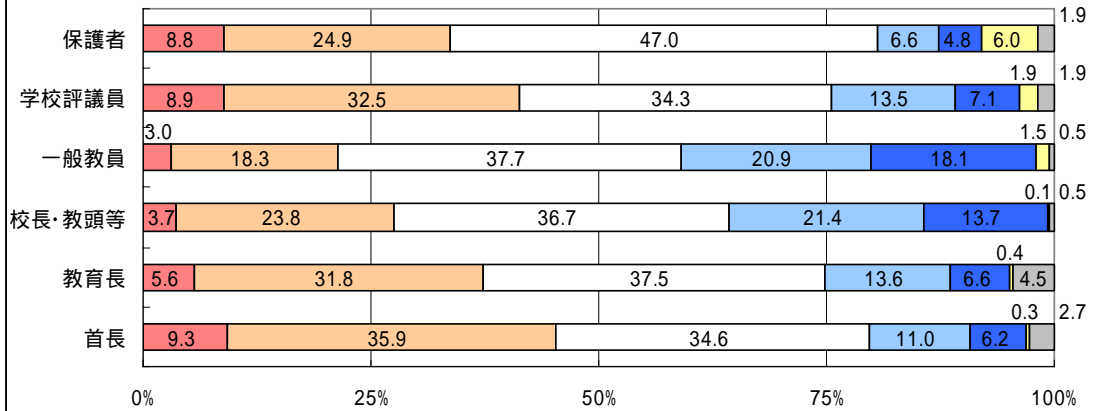


### 3 学校評価や教員等に関する改革についての考え方

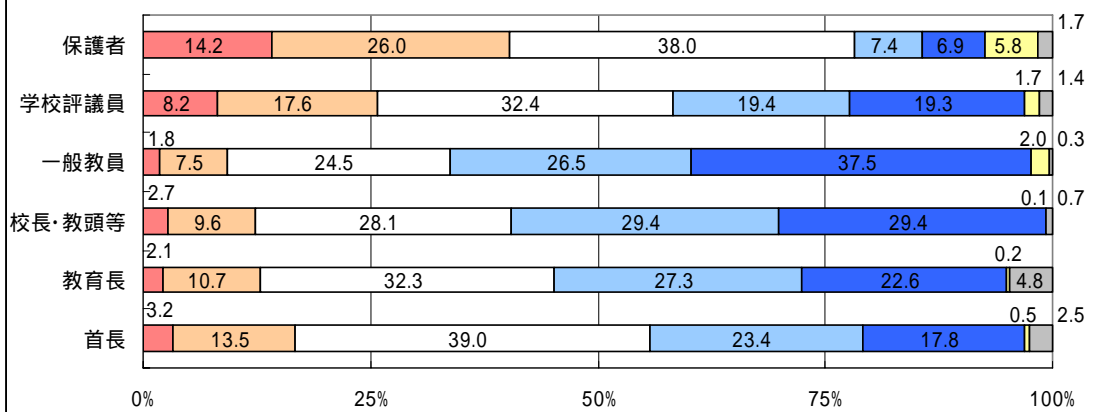
#### 学校評価や教員等に関する改革についての考え方



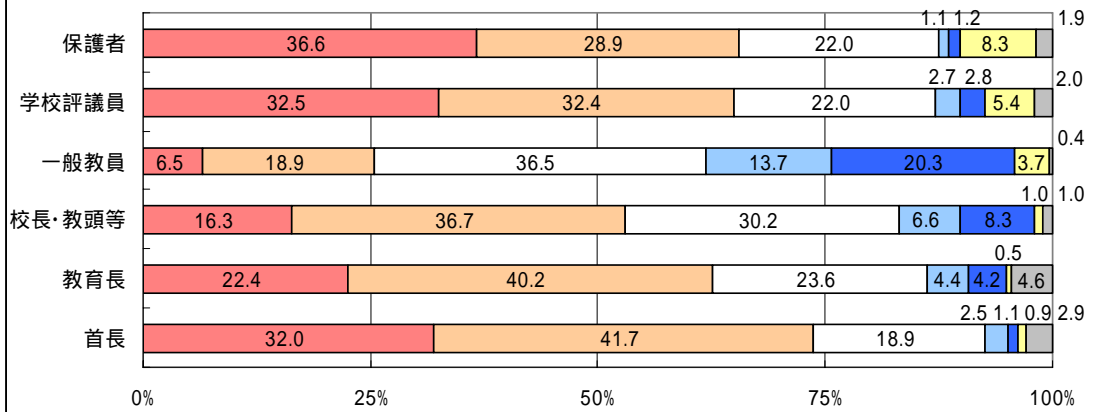
学校の運営方針の決定に保護者が参加する



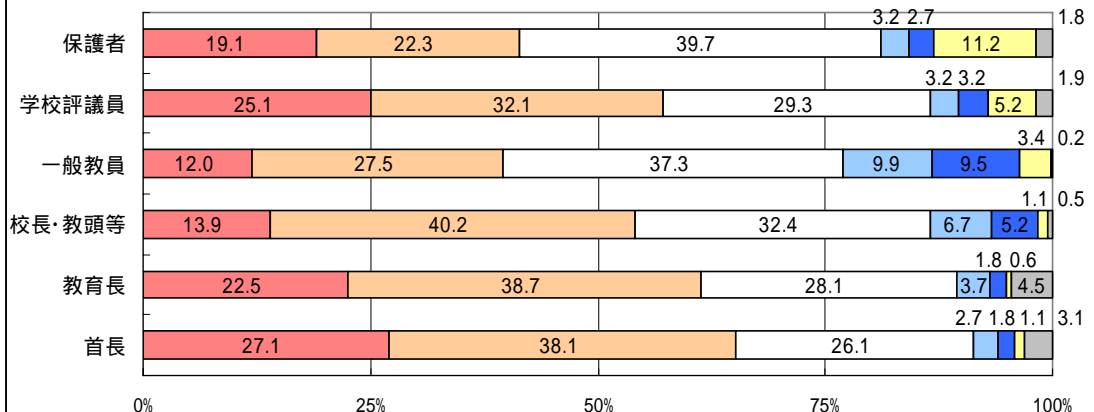
教職員の人事に保護者や地域住民が意見を言えるようにする



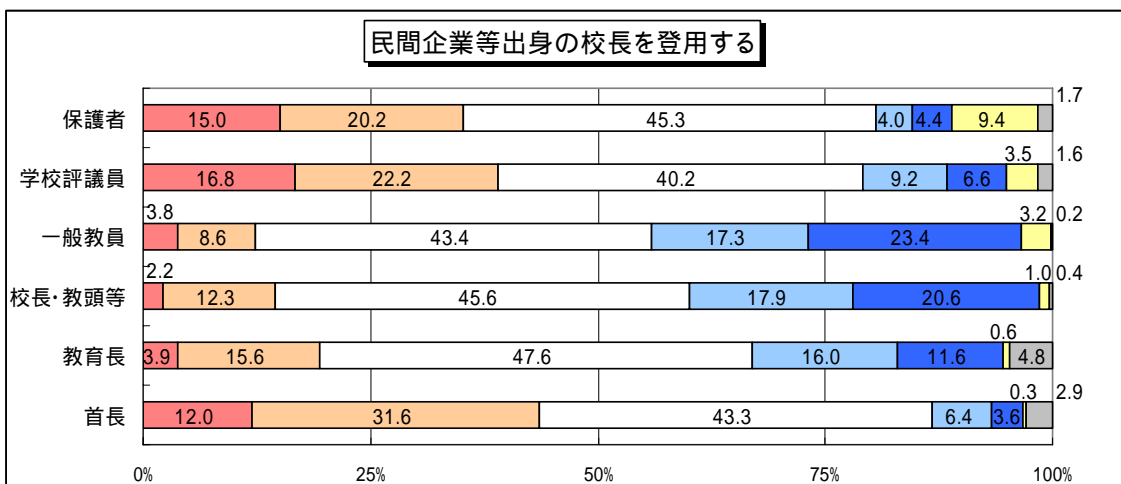
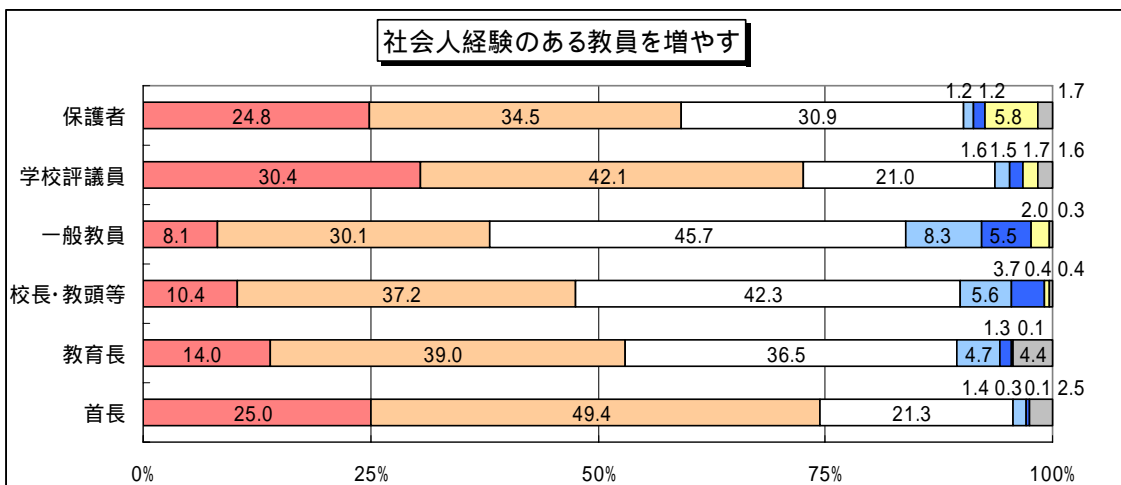
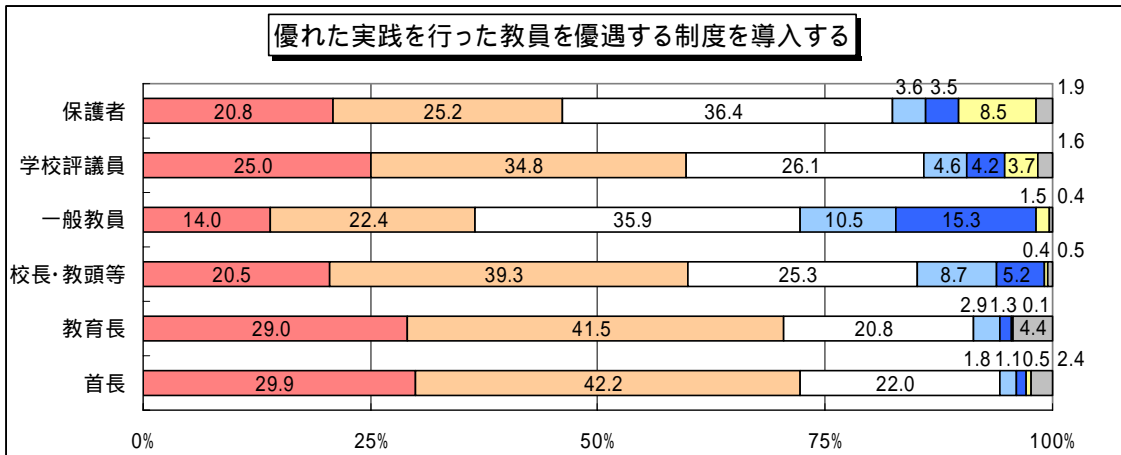
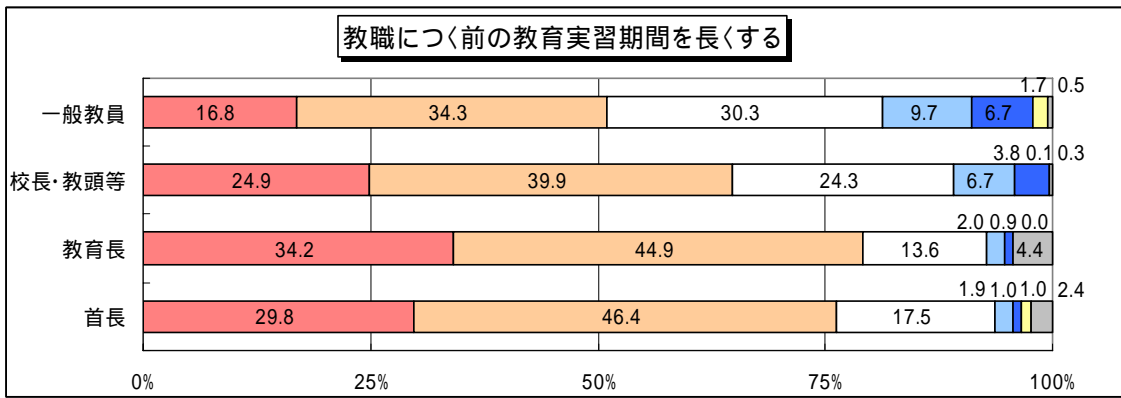
教員免許の更新制を導入する

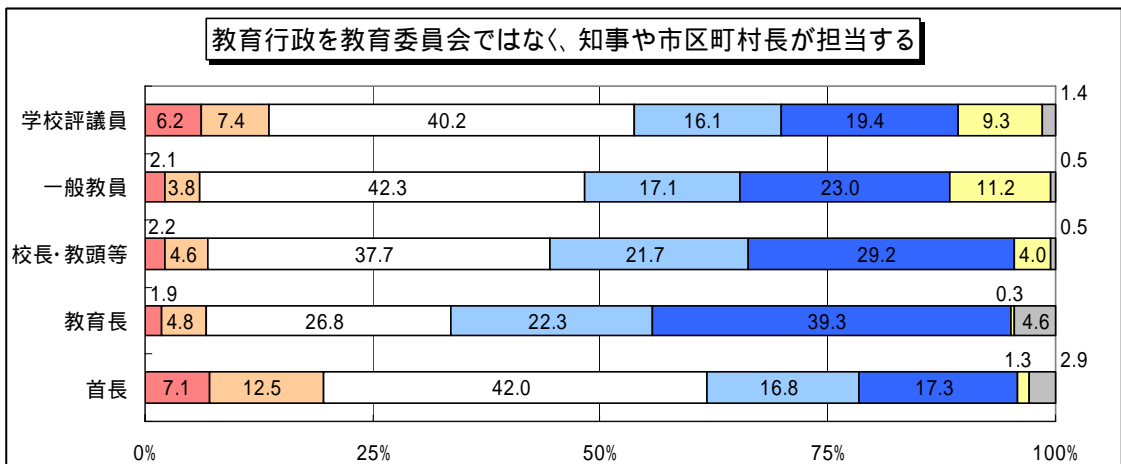
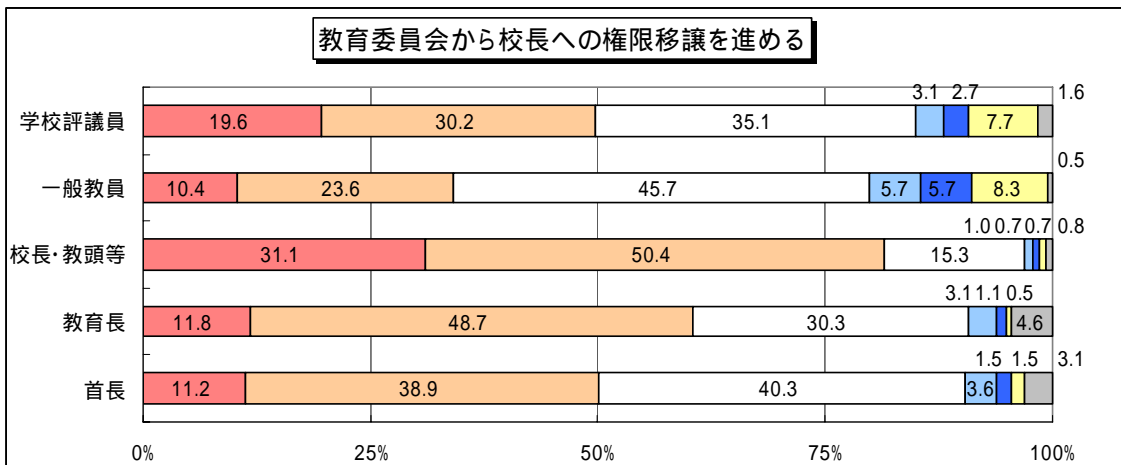
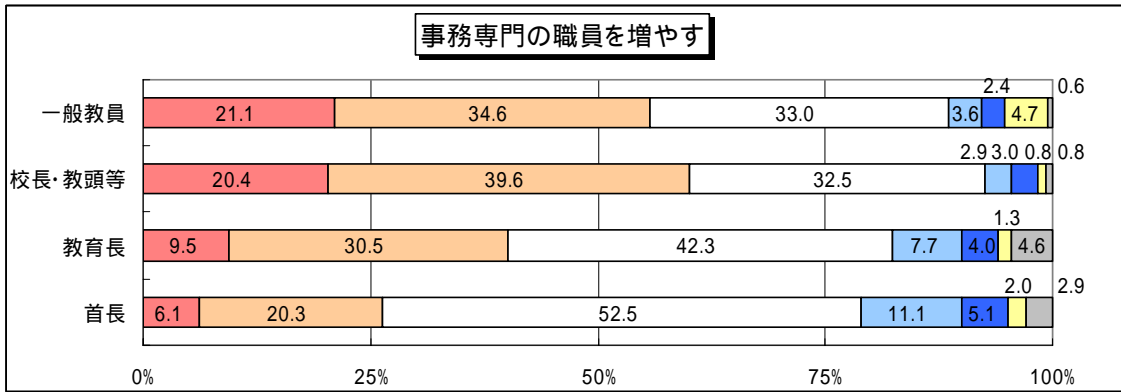
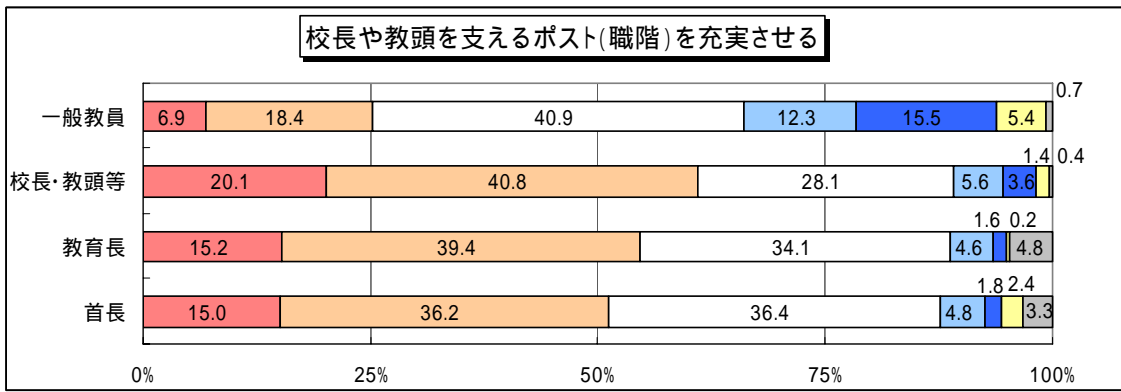


高度で実践的な教員養成を行う大学院をつくる

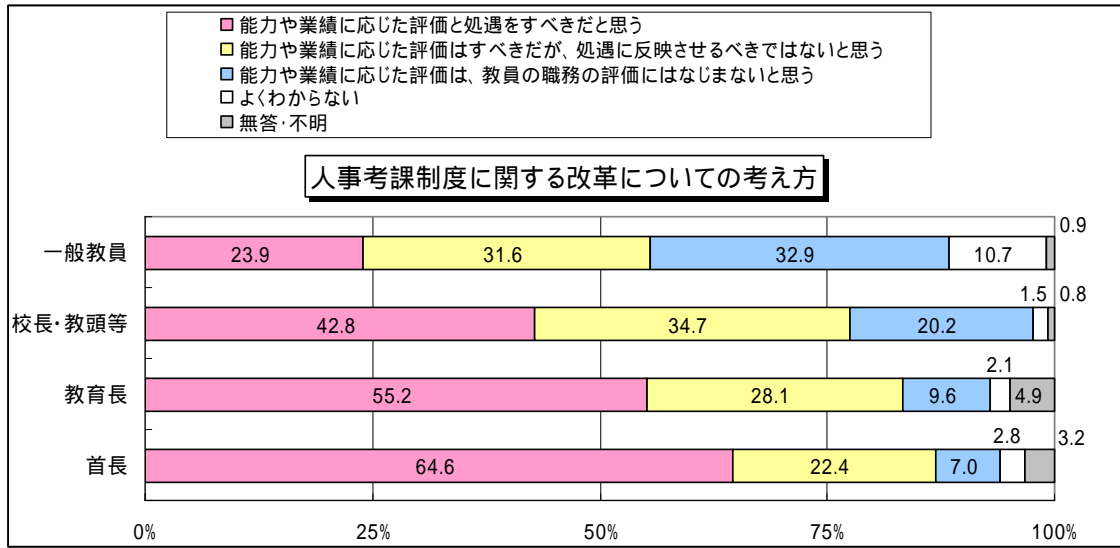








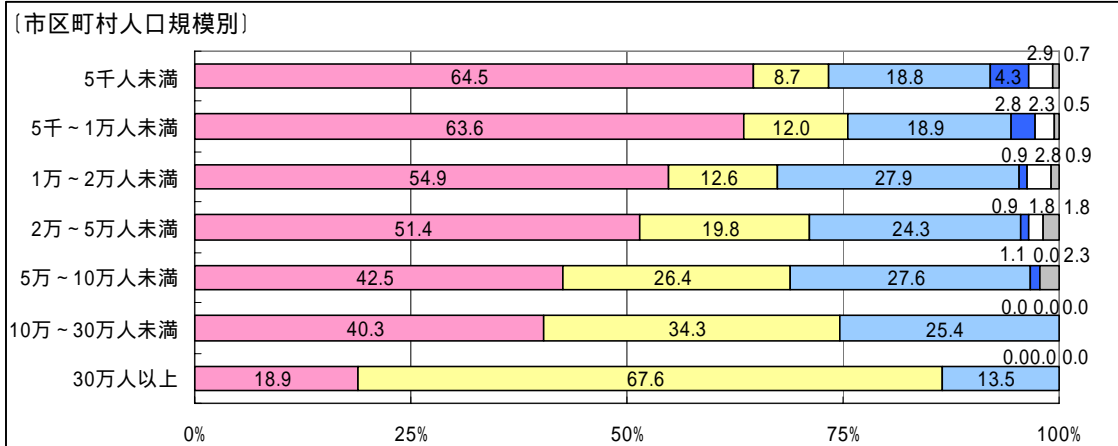
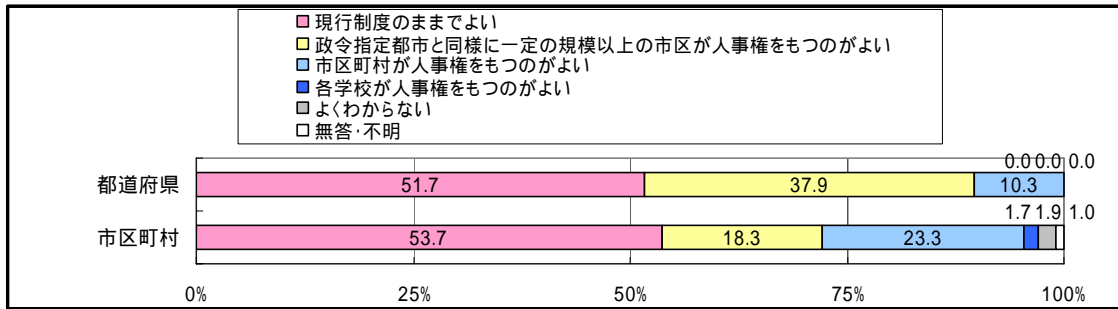
## 人事考課制度に関する改革についての考え方



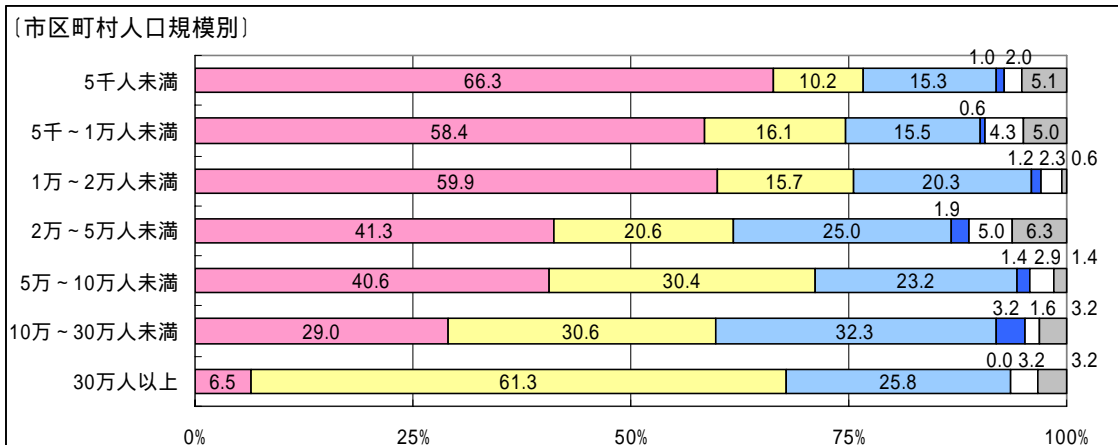
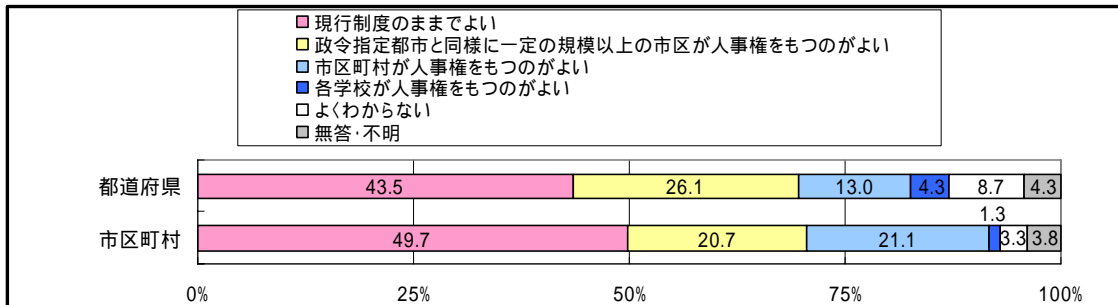
#### 4 教職員の人事権に関する改革についての考え方

##### 小・中学校の教職員人事権が都道府県にあることについての考え方

###### 【教育長】



###### 【首長】

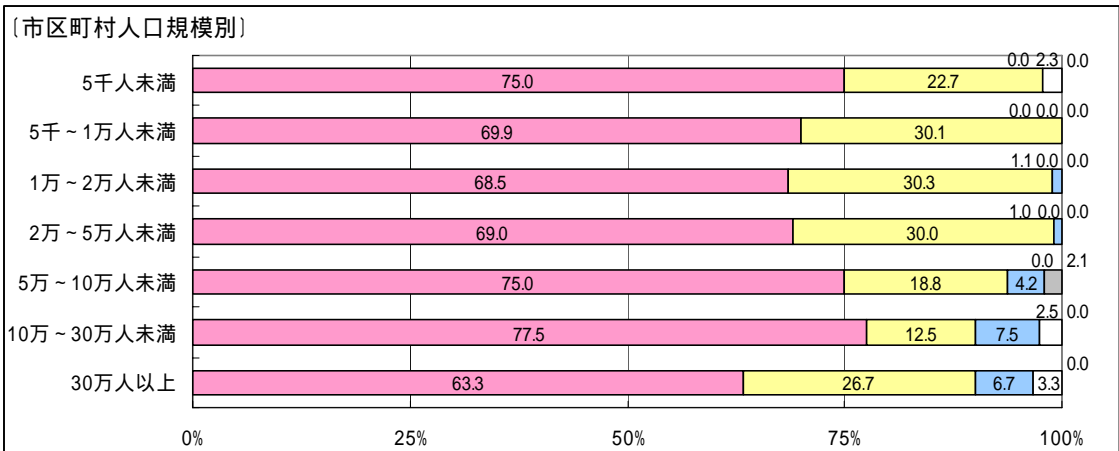
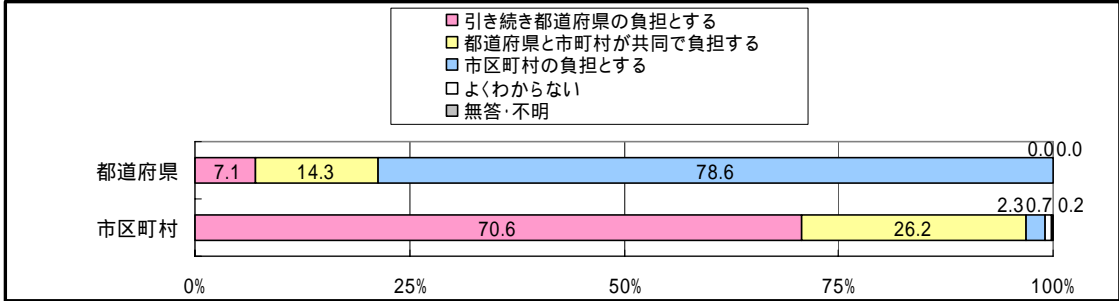


「市区町村」には政令指定都市は含まない。

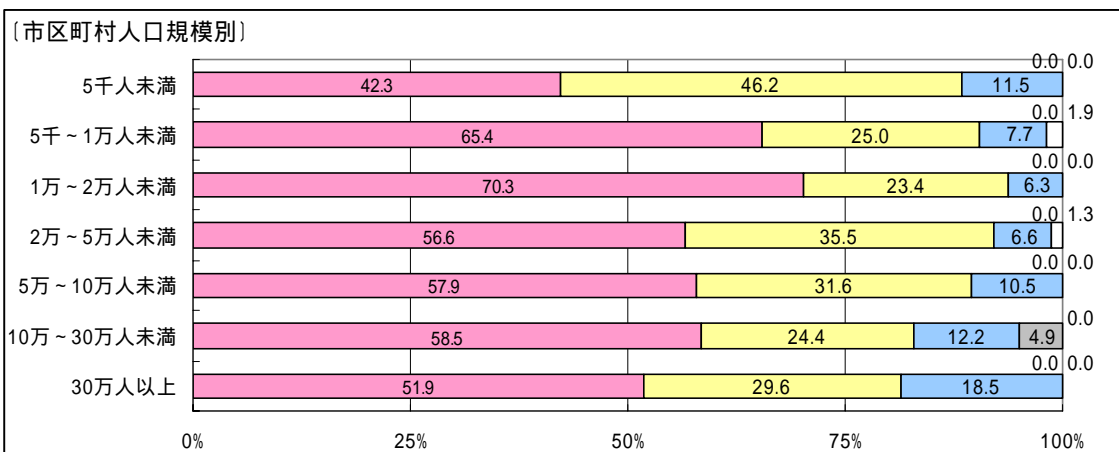
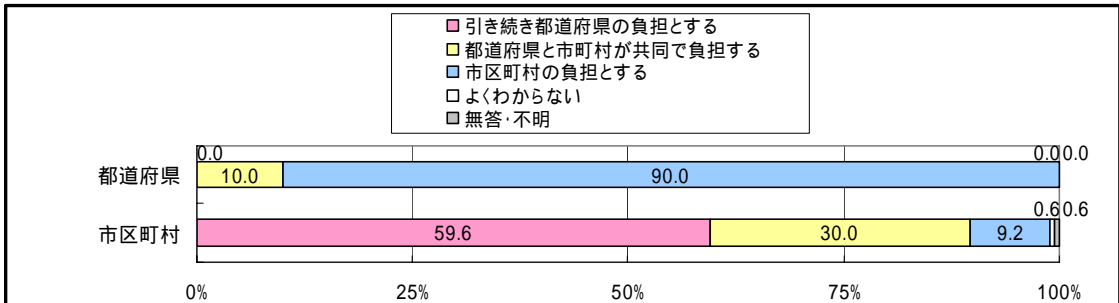
## 教職員人事権を都道府県から移す場合の経費の負担についての考え方

前項4 - において「政令指定都市と同様に一定規模以上の市区が人事権を持つのがよい」「市区町村が人事権を持つのがよい」「各学校が人事権を持つのがよい」と回答したものを母数としている。

### 【教育長】



### 【首長】



「市区町村」には政令指定都市は含まない。